

磯部小学校校舎バリアフリースイレ整備工事

A-01	表紙 図面リスト	E-01	電気設備特記仕様書
A-02	特記仕様書（1）	E-02	自動火災報知設備図
A-03	特記仕様書（2）	E-03	電灯・コンセント設備図
A-04	特記仕様書（3）	E-04	トイレ呼出し設備図
A-05	特記仕様書（4）		
A-06	特記仕様書（5）		
A-07	特記仕様書（6）	M-01	機械設備特記仕様書
A-08	特記仕様書（7） 概略工事工程表（参考図）	M-02	衛生器具表 給排水衛生換気設備図（改修）
A-09	附近見取図 配置図	M-03	機械設備 詳細仕様書
A-10	内部仕上表 改修箇所キープラン		
A-11	仮設計画図（参考図）		
A-12	平面図（改修前・改修後）		
A-13	バリアフリースイレ 断面詳細図(1)(2) 排水管外部保護 断面図		
A-14	展開図		
A-15	天井伏図・床伏図（改修前・改修後）		
A-16	建具表・サイン		

（A2からA3へ 70.7%縮小版）

工事名称 磯部小学校校舎バリアフリースイレ整備工事	表紙 図面リスト	設計	一級建築士 登録 343711号 箕浦 成図	一級建築士 登録 73286号 箕浦 眞司	一級建築士事務所 箕浦設計 三重県志摩市阿児町鶴方 1229-6 電話 0599-43-0550	図面番号 A — 01
		訂正				

1. 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)  
による。図面、本特記仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版)」(以下「標準仕様書」という。)による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を用いる。なお、電気設備工事の特記仕様書は(E-01)図、及び機械設備工事の特記仕様書は(M-01)図による。

(3) 本特記仕様書の表記

1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

3) 特記事項に記載の[ ]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4) 特記事項に記載の( )内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

5) □印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(平成12年法律第100号)に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(平成25年2月閣議決定)」に定める判断の基準を満たす物品を示す。

6) 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事については「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な増強、落下防止等の保全措置を講ずるとともに、工事中断の措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条(臨機の処置)によって処理されたものとする。

① 一般共通事項

6 PCB含有シーリング材の調査

7 化学物質の濃度測定

⑧ 発生材の処理等

⑨ 特定建設資材の処理

④ 材料の品質等

※施工計画調査

本工事該当部位及び関連部位について既存施設(埋設配管を含む)について事前調査、情報収集を行う。

報告書 監督職員に2部提出

配置図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付

調査業者 給排水改修工事数量調査は、志摩市水道事業給水条例第8条に規定する者とする。

・埋設配管の試験

範囲、復旧方法 ※図示

・第一次判定(シーリング材種の判定)

日本シーリング材工業会に次のシーリング材のサンプルを送付し、材種の判定を行う。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。

サンプリング採取箇所( ) 採取箇所数( )

・第二次判定(PCB含有量の分析)

専門分析機関に次のシーリング材のサンプルを送付し、PCB含有量の分析を行う。なお、分析サンプルの四角は除去し、採取部の内部(大気にさらされていない部分)を取り出して分析する。判定結果については、監督職員に速やかに報告する。

サンプリング採取箇所( ) 採取箇所数( )

i) 工事着手前に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を判定し、判定結果を監督職員に報告する。

測定対象室( ) 測定箇所数( )

ii) 工事着手前、施工後に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの濃度を判定し、判定結果を監督職員に報告する。

iii) 判定対象室及び測定箇所数は次による。

測定対象室( ) 測定箇所数( )

・引渡しを要するもの

・金属類

・PCBを含む機器類( )

・PCB含有シーリング材 使用箇所( )

・特別管理産業廃棄物 搬出先( )

・現場において再利用を図るもの

建設汚泥 再利用の方法( )

・再資源化を図るもの

○コンクリート 搬出先( 未定 )

○コンクリート及び鉄から成る建設資材 搬出先( )

○木材 搬出先( )

○アスファルト・コンクリート 搬出先( )

○廃せこうボード 搬出先( )

○せこうボード

i) 廃せこうボードの裏面の表示を確認し、石綿、ヒ素、カドミウムを含有するか又は、含有していないことが確認できない場合は、各製造工場に問い合わせの上、適切に処分する。

ii) 石綿含有廃せこうボード 搬出先( )

iii) その他の廃せこうボード(石綿、ヒ素、カドミウム非含有) 搬出先( )

・その他の含有物質( ) 搬出先( )

上記搬出先については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお提示する施設と異なる場合にも設計変更の対象としない。

本工事は、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」第9条による分別解体等実施義務の対象建設工事となることが想定されるため、同法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化の実施について適切な措置を講ずる。ただし、工事契約後に明らかになったやむを得ない事情により、工事契約時に予定していた条件により難しい場合は、監督職員と協議する。

また、分別解体・再資源化等の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面に監督職員に報告する。

・分別解体方法

工程	作業内容	分別解体等の方法
新築	i)「造成等」	造成等の工事
増築	ii)基礎・基礎ぐい	基礎、基礎ぐいの工事
増築・上部構造部分・外装	iii)上部構造部分、外装の工事	
改修	iv)屋根	屋根の工事
改修・内装等	v)建築設備・内装等の工事	
工事	vi)その他	その他の工事

解体工事

i) 建築設備、内装材等	建築設備、内装材の取り外し	手作業
ii) 屋根ふき材	屋根ふき材の取り外し	手作業
iii) 外装材、上部構造部分	外装材、上部構造部分の取り壊し	手作業、機械作業の併用
iv) 基礎、基礎ぐい	基礎、基礎ぐいの取り壊し	手作業、機械作業の併用
v) その他	その他の取り壊し	手作業、機械作業の併用

・特定建設資材廃棄物の種類と再資源化等をする施設

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等をする施設の名称	所在地
コンクリート		
コンクリート及び鉄から成る建設資材		
木材		
アスファルト・コンクリート		

届出に係る事項の説明時に上記と異なる施設(同種の再資源化等を行う施設に限る。)を受注者が提示した場合は、当該施設に搬出することができる。ただし、当該施設への変更については設計変更の対象としない。

① 一般共通事項

⑪ 完成写真

・撮影者：建築完成写真の撮影実績があるもので、監督職員が承諾する業者

撮影箇所数 ※( )箇所 ・航空写真( )箇所

※電子データー(JPEGフルカラー、圧縮率1/4程度)1部

・画素数、画質等 4500×3000 ピクセル以上で画像補正を行ったもの

・カラー印画紙キャビネット版( )枚

・四つ切( )枚 ※アルミ額縁

・半切( )枚 ※アルミ額縁

・撮影者：任意

撮影箇所数 ※(外観4面各2面程度)箇所

※電子データー(JPEGフルカラー)1部

・画素数、画質等 1280×960 ピクセル以上

・カラー印画紙キャビネット版(A4用紙に1ページ当たり3枚(L版)程度1部)

② 仮設工事

① 足場その他

・「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

・内部足場 種別(※独立・足場板等、階段欄足場・くさび緊結)

・外部足場 種別(※A種・B種・C種・D種・E種) [表2.2.1]

・防護シートを設置

・養生シート ・柵状養生シート ・金網 ・防音シート ・防音バール

材料、撤去材等の運搬方法

種別(・A種・B種・C種・D種・E種)

C種：利用可能なエレベーター( )

D種：利用可能な階段( )

② 既存部分の養生

① 養生の方法等

・既存部分 養生の方法(※ビニルシート等)

・既存器具・家具等 養生の方法(※ビニルシート等)

・既存フラインド、カーテン等 養生の方法(※ビニルシート等)

・養生場所(図示)

② 備品、机、ロッカー等の移動(別途協議)

・既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

※設ける ・設けない

規模(m程度) ・1.0 ・1.5 ・3.5 ・6.5 ・10.0 [2.3.1]

備品等の設置

種 類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計
数 量	4 組	1 台	1 個	1 個	個
種 類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣服ロッカー
数 量	足	着	個	個	個
種 類	消火器	掃除具	誘導加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器
数 量	1 個	1 個	1 台	1 台	1 台

⑤ 仮設便所

⑥ 工事用水

⑦ 工事電力

⑧ 仮設間仕切

① 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所

② 仮設間仕切りの種別と材質等 [2.3.2] [表2.3.1]

種 別	下 地	仕上げ(厚さmm)	塗 装	充填剤
・A種	・木	○せこうボード(9.5mm)	○無し	※有り
・B種	・軽量鉄骨	・合板(9.0mm)	○無し	○片面
※C種	・鋼管	・防炎シート		
充填剤：ｸﾞﾗﾌｨｯﾄ-#32 ｋ	(厚：50mm以上)			

③ 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材 質	仕 上 げ	塗 装
※木製	※合板張り程度	○無し
		○片面

③ 1 施工数量調査

調査範囲 ・図示 ・防水改修範囲

調査方法 ・図示

既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示

調査報告書 提出部数：・2部

③ 2 降雨等に対する養生方法(とい共)

※改修標準仕様書3.1.3(e)(1)～(3)による。

③ 3 既存防水の処理

既存保護層の撤去 ・行う(範囲・図示) ・行わない

既存防水層の撤去 ・行う(範囲・図示) ・行わない

露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う(・MAS ・MASI ・MAC ・M4DI ・L4X) ・行わない

③ 4 既存防水層の下地補修

既存不地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ・図示

POS工法及びPOSII工法(機械式固定方法)の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の補修及び処置

※改修標準仕様書3.2.6(d)(3)(vi)①～③による

③ 3.2～4.3.3.5]

③ 防水改修工事

5 アスファルト防水

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3Iによる

・粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3Iによる

・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.4.1から表3.4.3Iによる

・脱気装置の種類及び設置数量

※改質アスファルトシート製造所の指定による

・押え金物

※改質アスファルトシート製造所の仕様による

③ 防水改修工事

5 アスファルト防水

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9Iによる

・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ

※改修標準仕様書表3.3.3から表3.3.9Iによる

・平場の保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ ※水下 80mm以上

床タイル張り ※水下 60mm以上

・乾式保護材

窓系系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形し、オートクレープ養生したもの

金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したもの

(品質・性能)

建築材料等品質性能表による

(試験方法)

建築材料等品質性能表による

屋根露出防水

防水層の種類

工 法	種 別	施工箇所	断熱材□	仕上塗料		高日射反射率防水の適用□	備考
				種 類	使用量		
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図 示		・製造所の指定による	・製造所の指定による		
・M3D ・P0D	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・製造所の指定による	・製造所の指定による		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・P0DI ・M3DI ・M4DI	・D1-1 ※D1-2		(材質) ※JIS A 9511によるA種種質の保温暖度2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの(厚さ)・25mm	・製造所の指定による	・製造所の指定による		・脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

脱気装置の種類及び設置数量

※アスファルトルーフィング類製造所の指定による

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

③ 4.2]

工事名称 磯部小学校校舎バリアフリートイレ整備工事	特記仕様書（１）	設計	一級建築士 登録 73286号	一級建築士事務所 箕 浦 設 計 三 重 県 志 摩 市 阿 児 町 鶴 方 1229-6 電 話 0599-43-0550	図面番号 A — 02
		一級建築士 登録 343711号			
	訂正	箕 浦 成 図	箕 浦 眞 司		



4-4 外壁 改修 工事  塗り 仕上 げ外 壁改 修	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項
	1 所要量の確認	工程ごとの所要量の確認 ※改修標準仕様書表4.6.1による [4.6.2] [表4.6.1]	⑤ アルミニウム製建具	性能等級 外部に面する建具 ・A種（建具符号：・建具表による・） ・B種（建具符号：・建具表による・） ・C種（建具符号：・建具表による・） 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ （建具符号：・建具表による・） （建具符号：・建具表による・） 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 枠の見込み寸法 ・建具表による 表面処理 外部に面する建具 ・B-1種 ・B-2種 ・皮膜等の種類（※改修標準仕様書表5.2.2による・） 着色（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー） ・C-1種 ・C-2種 ・皮膜等の種類（※改修標準仕様書表5.2.2による・） 着色（・アンバー・ブロンズ・ブラック系・ステンカラー） 結露水の処理方法 ・図示 ・適用しない 水切り板、ぜん板 ・図示 ・	9 ステンレス製建具	性能等級 簡易気密型 ・適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ （建具符号：・建具表による・） （建具符号：・建具表による・） 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 鋼板（屋外） ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1、 鋼板（屋内） ※SUS304、SUS430J1L、SUS443J1、SUS430 表面仕上げ ※H L仕上げ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ・角出し曲げ	5 オーバーヘッドドア	セクション材料による区分 ・125 ・100 ・75 ・50 耐風圧区分(Pa) 開閉方式による区分 ※バルナス式 ・チェーン式 ・電動式 収納形式による区分 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ガイドレールの材質 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板
	2 既存塗膜等の除去及び下地処理	※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上げ塗材主材	6 樹脂製建具	性能等級 外部に面する建具 ・A種（建具符号：・建具表による・） ・B種（建具符号：・建具表による・） ・C種（建具符号：・建具表による・） 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（・T-1・T-2） （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ （建具符号：・建具表による・） （・H-4・H-5・） （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 枠の見込み寸法 ・建具表による 表面色 ※標準色・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス ・	⑩ 建具用金物	金物の種類・見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.7.1による・ 樹脂製建具に使用する丁番 ※改修標準仕様書表5.7.3による・ 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置・建具表による・	⑦ ガラス	合わせガラス ・I類 ・II-1類・II-2類 ・III類 強化ガラス 材料板ガラスによる種類 ・フロートガラス ・I類 ・III類 型板ガラス 型板強化ガラス
	3 下地調整塗材	※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上げ塗材主材	7 鋼製建具	性能等級 簡易気密型 ・適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ （建具符号：・建具表による・） （建具符号：・建具表による・） 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 鋼板 ※化粧鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 鋼板の厚さ ・改修標準仕様書表5.5.1による 召合せ、緩小口包み板の材質 ※鋼板	12 自動ドア開閉装置	自動ドア ・SSLD-1 ※改修標準仕様書表5.8.1による ・SSLD-2 ・DSLD-1 ・DSLD-2 ・SWD-1 ※改修標準仕様書表5.8.2による ・SWD-2 ・図示 性能 ※改修標準仕様書表5.9.1による （試験） 工事建築材料等品質性能表による	18 ガラスブロック	ガラス留め材及び溝の大きさ 建具の種類 アルミニウム製 ・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・図示 鋼製及び鋼製軽鋼 ・シーリング材 ・図示 ステンレス製 ・シーリング材 ・図示
	4 仕上げ塗材仕上げ	建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 新規仕上塗材の種類	⑧ 鋼製軽量建具	性能等級 簡易気密型 ・適用する （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4（建具符号：・建具表による・） ・S-5（建具符号：・建具表による・） ・S-6（建具符号：・建具表による・） 防音ドアセット、防音サッシ ・適用する 遮音性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 断熱ドアセット、断熱サッシ （建具符号：・建具表による・） （建具符号：・建具表による・） 耐震ドアセット ・適用する 面内変形追従性の等級（・） （建具符号：・建具表による・） ・適用しない 鋼板 ※化粧鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 鋼板の厚さ ・改修標準仕様書表5.5.1による 召合せ、緩小口包み板の材質 ※鋼板	13 自閉式上吊り引戸装置	シャッターの種類 ・一般重量シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター 性能 ※改修標準仕様書表5.9.1による （試験） 工事建築材料等品質性能表による	19 ガラス用フィルム	ガラス用フィルム 名称 ・ガラス飛散防止フィルム ・日射調整フィルム 種類 G S 張り面 ※内張り・外張り 性能値 飛散防止率D 1
⑤ ① 改修工法	5 マスチック塗材塗り	種別 ・A種 ・B種						
	⑤ ① 改修工法	⑤ ① 改修工法						

⑥ 内装改修工事

① 改修範囲

既存間仕切り壁撤去に伴う当該壁の取り合う天井・壁及び床の改修範囲  
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示  
天井内の既存壁撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲  
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示  
天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修  
・既存のまま ○図示

② 既存床の撤去及び下地補修

ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも）  
・下地モルタルとも ○図示の範囲 ・除去範囲全て）  
  
合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法  
コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。  
改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・

③ 既存壁の撤去及び下地補修

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修  
※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り（塗り厚25mmを超える場合の補修）○行う ・行わない）  
・図示

4 木下地等の表面仕上げ

表面仕上げの種類 適用箇所  
・A種  
※B種  
・C種  
・D種

5 製材

・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材  
施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用  
※2級 ・ ※A種・B種 ・  
※2級 ・ ※A種・B種 ・  
※2級 ・ ※A種・B種 ・  
  
・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材  
施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用  
※A種・B種 ・  
  
・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材  
施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 間伐材等の適用  
※1等 ・ ※A種・B種 ・  
※1等 ・ ※A種・B種 ・  
※1等 ・ ※A種・B種 ・  
  
・「製材の日本農林規格」以外の製材  
施工箇所 樹種 寸法(mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水量 間伐材等の適用  
（ ） ・適用する ※A種  
造作材の場合 ・適用する ※B種  
※A種・B種 しない しない  
  
・代用樹種を使用できない箇所（ ）  
  
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・  
・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材  
施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 間伐材等の適用  
※1等 ・  
※1等 ・  
※1等 ・  
  
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材  
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材面の品質 間伐材等の適用  
※1等 ・  
※1等 ・  
※1等 ・  
  
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材  
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 間伐材等の適用  
・  
・  
・  
  
・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材  
施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材面の品質 含水率 間伐材等の適用  
※A種・B種 ・  
※A種・B種 ・  
※A種・B種 ・  
  
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材  
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 材面の品質 含水率 間伐材等の適用  
※A種・B種 ・  
※A種・B種 ・  
※A種・B種 ・  
  
・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材  
施工箇所 化粧薄板の樹種 芯材の樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 材面の品質 含水率 間伐材等の適用  
※A種・B種 ・  
※A種・B種 ・  
※A種・B種 ・

7 造作用単板積層材

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・  
「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材  
施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 防虫処理 間伐材等の適用  
・有り（加工 ・天然木加工・塗装加工） ・適用する  
・無し（等級） ・適用しない  
  
「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材  
施工箇所 厚さ(mm) 表面の化粧加工 防虫処理 含水率 間伐材等の適用  
・有り（加工 ・天然木加工・塗装加工） ・適用する ※14%以下  
・無し（ ） ・適用しない  
  
ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種  
・普通合板 [G]  
施工箇所 厚さ(mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 難燃処理 防火処理 間伐材等の適用  
※5.5 ・ ※1類 広葉樹 ・適用する  
※2等以上 ・適用する  
・1等 針葉樹 ・適用しない  
※C-D以上 ・  
  
・構造用合板 [G]  
施工箇所 厚さ(mm) 等級 表面の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用  
※12 ※2級以上 ・ ※1類 ※C-D以上 ・適用する  
・1級 ・特種 ・（ ）  
・適用しない  
  
・パーティクルボード [G]  
施工箇所 厚さ(mm) 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分  
※15 ・ ※13タイプ ※P又はM  
  
・構造用パネル  
施工箇所 厚さ(mm) 等級  
・1級 ・2級 ・3級 ・4級

8 床張り用合板等

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・第三種  
・普通合板 [G]  
施工箇所 厚さ(mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 難燃処理 防火処理 間伐材等の適用  
※5.5 ・ ※1類 広葉樹 ・適用する  
※2等以上 ・適用する  
・1等 針葉樹 ・適用しない  
※C-D以上 ・  
  
・構造用合板 [G]  
施工箇所 厚さ(mm) 等級 表面の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用  
※12 ※2級以上 ・ ※1類 ※C-D以上 ・適用する  
・1級 ・特種 ・（ ）  
・適用しない  
  
・パーティクルボード [G]  
施工箇所 厚さ(mm) 表表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分  
※15 ・ ※13タイプ ※P又はM  
  
・構造用パネル  
施工箇所 厚さ(mm) 等級  
・1級 ・2級 ・3級 ・4級

9 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。  
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・  
・防腐、防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材  
適用部位：（ ）  
  
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理  
適用部位 保存処理性能区分  
・K2 ・K3 ・K4  
・K2 ・K3 ・K4  
・K2 ・K3 ・K4  
  
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理  
適用部位 処理の方法  
※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7～Ⅰによる ・  
※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7～Ⅰによる ・  
※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7～Ⅰによる ・  
  
・ボード原料接着材への薬剤混入による防腐、防蟻処理  
適用部位（ ）

10 防腐・防蟻処理

緑縁等の種類  
屋外（※25形・19形） 屋内（※19形・25形）  
・屋外の軒天井、ピロティ天井等  
工法  
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法  
※適用する（建築基準法に基づき定まる風圧力の（・1・1.5・1.3）倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法）  
・適用しない  
緑縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・  
周辺部の端からの間隔 ・図示 ・  
緑縁の間隔 ・図示 ・  
  
既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない  
あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う（屋外の場合の方法： ）  
○行わない  
  
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・  
  
・天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法  
※改修標準仕様書6.6.4(h)(1)(2)による ・  
  
・天井のふところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示  
  
・天井下地材における耐震性を考慮した補強  
補強箇所 ※図示 ・  
補強方法 ※図示 ・

12 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類  
※改修標準仕様書6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類  
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・  
  
種類 JIS記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考  
・発泡層のないもの ※F5（複層ビニル床シート） ・無地 ・防汚性 ※2.5  
・マーブル柄 ・耐動荷重性 ※2.0  
・ 防滑性  
・発泡層のあるもの ・無地 ・柄物 ・抗菌性

13 ビニル床シート

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ）  
特殊機能  
・帯電防止 ・帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満  
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10<sup>7</sup>～7×10<sup>10</sup>Ω程度

14 ビニル床タイル

JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考  
・FT（複層ビニル床タイル） ・無地 ・300×300 ・帯電防止 ※2.0  
・柄物 ・450×450 ・防滑性 ・2.5  
・3.0  
・KT（コポリシヨビニル床タイル） ・無地 ・300×300 ・帯電防止 ・2.0  
・柄物 ・450×450 ・防滑性 ・3.0  
・FOA（置敷きこぼる床タイル） ・無地 ・柄物 ・500×500 ・帯電防止  
・防滑性  
  
特殊機能  
・帯電防止 ・帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満  
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10<sup>7</sup>～7×10<sup>10</sup>Ω程度  
・  
  
材質 ・軟質 ・硬質  
高さ(mm) 60 75 100  
厚さ(mm) ※1.5以上 ・  
  
色柄（ ）  
厚さ(mm) 3.0 4.5 6.0 9.0  
寸法(mm)（ ）

15 ビニル幅木

材質 ・軟質 ・硬質  
高さ(mm) 60 75 100  
厚さ(mm) ※1.5以上 ・  
  
色柄（ ）  
厚さ(mm) 3.0 4.5 6.0 9.0  
寸法(mm)（ ）

16 ゴム床タイル

色柄（ ）  
厚さ(mm) 3.0 4.5 6.0 9.0  
寸法(mm)（ ）

17 カーペット敷き

・織じゅうたん  
種類 バイル形状 織り方 色柄等 帯電性 備考  
・A種 ・カットバイル ・ウイルトンベアット ・無地 ・適用する  
・B種 ・ルーフバイル ・ダブ・ルーフ ・柄物 （性能： ※人体帯電圧3kv以下）  
・C種 ・カット、ルーフ併用 ・アキミスターベアット ・適用しない  
  
下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・  
  
・タフテッドカーペット  
バイル形状 n' 倍長さ(mm) 工法 帯電性 備考  
・カットバイル ・5～7 ・ ※全面接着工法 ・適用する  
・ルーフバイル ・4～6 ・ ・グリップバイル 工法 （性能： ※人体帯電圧3kv以下）  
・バイル・ルーフ併用 ・4 ・ ・適用しない  
  
下敷き材（グリップバイル工法の場合）  
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・  
  
・ニードルパンチカーペット  
厚さ(mm)（ ）  
帯電性 ・適用する（性能： ※人体帯電圧3kv 以下 ）  
・適用しない  
備考（ ）  
  
・タイルカーペット  
バイル形状 種類 施工箇所 寸法(mm) 総厚さ(mm) 備考  
※ルーフバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5  
・第二種 ・  
・カットバイル ・第一種 ※500×500 ※6.5  
・第二種 ・  
・カット・ルーフ併用 ・第一種 ※500×500 ※6.5  
・第二種 ・

12 合成樹脂塗床

スタッド、ランナーの種類  
※改修標準仕様書6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類  
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・  
  
種類 JIS記号 施工箇所 色柄 特殊機能 厚さ(mm) 備考  
・発泡層のないもの ※F5（複層ビニル床シート） ・無地 ・防汚性 ※2.5  
・マーブル柄 ・耐動荷重性 ※2.0  
・ 防滑性  
・発泡層のあるもの ・無地 ・柄物 ・抗菌性

13 ビニル床シート

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ）  
特殊機能  
・帯電防止 ・帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満  
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10<sup>7</sup>～7×10<sup>10</sup>Ω程度

14 ビニル床タイル

JIS記号 施工箇所 色柄 寸法 特殊機能 厚さ(mm) 備考  
・FT（複層ビニル床タイル） ・無地 ・300×300 ・帯電防止 ※2.0  
・柄物 ・450×450 ・防滑性 ・2.5  
・3.0  
・KT（コポリシヨビニル床タイル） ・無地 ・300×300 ・帯電防止 ・2.0  
・柄物 ・450×450 ・防滑性 ・3.0  
・FOA（置敷きこぼる床タイル） ・無地 ・柄物 ・500×500 ・帯電防止  
・防滑性  
  
特殊機能  
・帯電防止 ・帯電防止性能評価値（JIS A 1455）1.2以上～3.2未満  
又は体積電気抵抗値（JIS A 1454）1×10<sup>7</sup>～7×10<sup>10</sup>Ω程度  
・  
  
材質 ・軟質 ・硬質  
高さ(mm) 60 75 100  
厚さ(mm) ※1.5以上 ・  
  
色柄（ ）  
厚さ(mm) 3.0 4.5 6.0 9.0  
寸法(mm)（ ）

15 ビニル幅木

材質 ・軟質 ・硬質  
高さ(mm) 60 75 100  
厚さ(mm) ※1.5以上 ・  
  
色柄（ ）  
厚さ(mm) 3.0 4.5 6.0 9.0  
寸法(mm)（ ）

16 ゴム床タイル

色柄（ ）  
厚さ(mm) 3.0 4.5 6.0 9.0  
寸法(mm)（ ）

17 カーペット敷き

・織じゅうたん  
種類 バイル形状 織り方 色柄等 帯電性 備考  
・A種 ・カットバイル ・ウイルトンベアット ・無地 ・適用する  
・B種 ・ルーフバイル ・ダブ・ルーフ ・柄物 （性能： ※人体帯電圧3kv以下）  
・C種 ・カット、ルーフ併用 ・アキミスターベアット ・適用しない  
  
下敷き材 ※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・  
  
・タフテッドカーペット  
バイル形状 n' 倍長さ(mm) 工法 帯電性 備考  
・カットバイル ・5～7 ・ ※全面接着工法 ・適用する  
・ルーフバイル ・4～6 ・ ・グリップバイル 工法 （性能： ※人体帯電圧3kv以下）  
・バイル・ルーフ併用 ・4 ・ ・適用しない  
  
下敷き材（グリップバイル工法の場合）  
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・  
  
・ニードルパンチカーペット  
厚さ(mm)（ ）  
帯電性 ・適用する（性能： ※人体帯電圧3kv 以下 ）  
・適用しない  
備考（ ）  
  
・タイルカーペット  
バイル形状 種類 施工箇所 寸法(mm) 総厚さ(mm) 備考  
※ルーフバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5  
・第二種 ・  
・カットバイル ・第一種 ※500×500 ※6.5  
・第二種 ・  
・カット・ルーフ併用 ・第一種 ※500×500 ※6.5  
・第二種 ・

19 フローリング張り

単層フローリング[G]  
種類 工法 樹種 厚さ(mm) 大きさ 仕上塗装 間伐材等の適用  
・フローリングボード ・釘留め工法（根太張り） ・※なら 15 板幅75 板長さ500以上 ・塗装品  
・釘留め工法（直張り） ・※なら ・12以上 板幅75 板長さ300以上 ・  
・接着工法 ・※なら ・12以上 板幅75 板長さ300以上  
・フローリングブロック ・接着工法 ・※なら 15 303×303 ・塗装品  
・モルタル埋込工法 ・※なら ※15 ※303×303 ・塗装品  
・モザイクパティ ・接着工法 ・ ・ ・ ・塗装品

20 畳敷き

天然木化粧複合フローリング[G]  
種類 工法 樹種 厚さ/大きさ(mm) 種別 防湿処理 塗装仕上げ 間伐材等の適用  
・複合1種フローリング ・釘留め工法（根太張り） ・※なら ・A種 ・適用する  
・複合2種フローリング ・釘留め工法（直張り） ・※なら ・C種 ・適用しない  
・複合3種フローリング ・接着工法 ・※なら 板厚 ・8以上 板長さ 75以上 板長さ 900以上  
  
フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外  
接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・  
現場塗装仕上げ ・行う（施工箇所 ）  
※ウレタン樹脂ワニス塗り  
・オイルステンの上、ワックス塗り  
・生地のままワックス塗り  
・行わない  
  
種類 ・A種 ・B種 ・C種  
下地の種類  
・D種（畳床：・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N）  
・標準仕様書 表12.6.1による床組  
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロング[G]）  
  
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

工事名称 磯部小学校校舎バリアフリートイレ整備工事	特記仕様書（４）	設計	一級建築士 登録 73286号	一級建築士事務所 箕 浦 設 計 三 重 県 志 摩 市 阿 児 町 鶴 方 1229-6 電 話 0599-43-0550	図面番号 A — 05
		一級建築士 登録 343711号			
	訂正	箕 浦 成 図	箕 浦 眞 司		

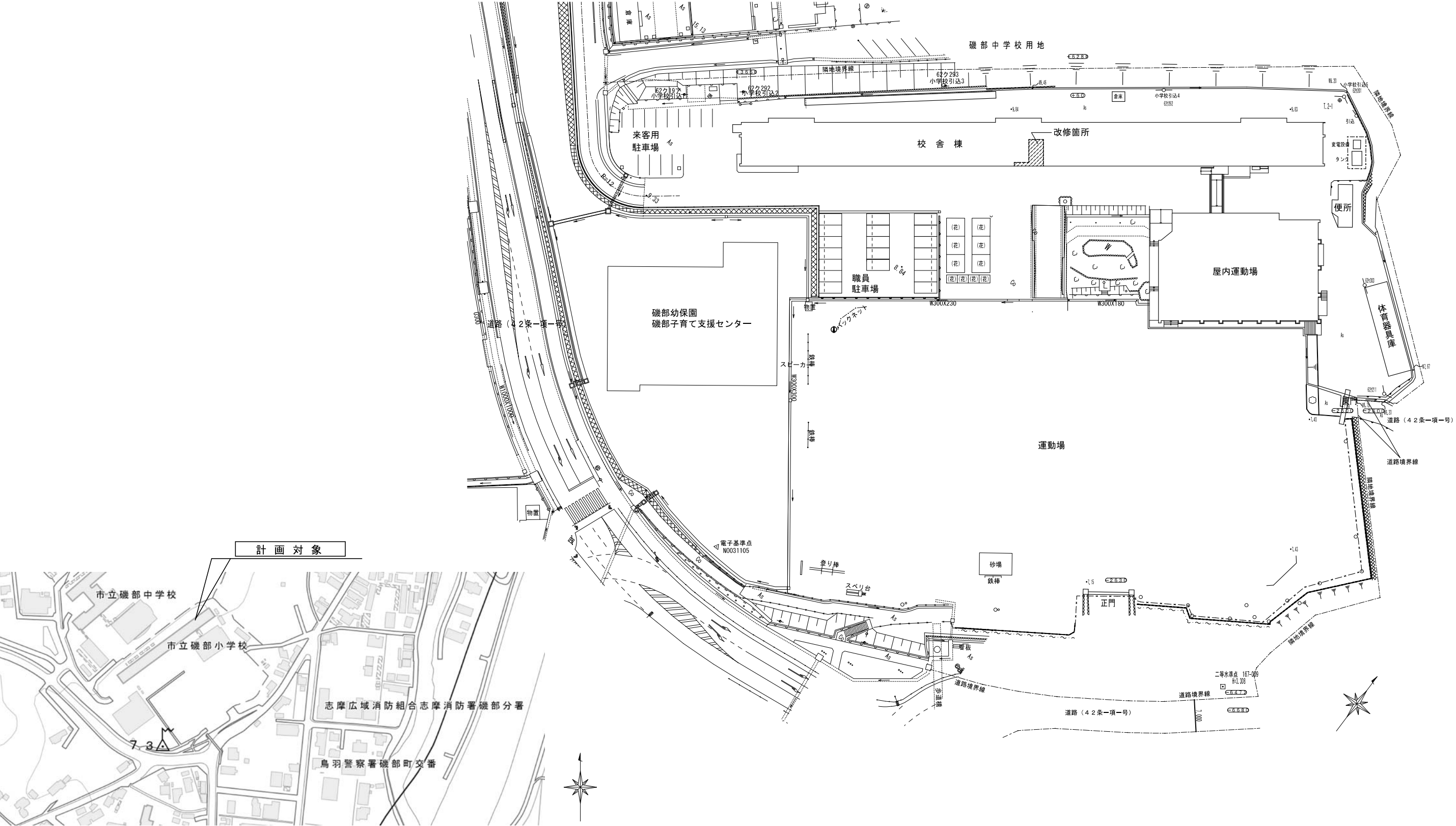
⑥	⑬	内装改修工事	特記事項	⑥	特記事項	⑦	④	特記事項	⑧	項目	特記事項
			せっこうボード その他のボード 及び合板張り	24	タイル貼り	塗装改修工事	塗装改修工事	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	7	鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網を含む)
				内装改修工事						8	機械式継手
⑥	⑬	内装改修工事	特記事項	22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	9	溶接継手
				22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	10	圧接完了後の試験
				22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	11	割製補強筋
⑥	⑬	内装改修工事	特記事項	22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	12	コンクリートの種類
				22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	13	コンクリートの種類
				22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	14	セメント
⑥	⑬	内装改修工事	特記事項	22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	15	骨材
				22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	16	混和材料
				22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	17	気乾単位容積質量
⑥	⑬	内装改修工事	特記事項	22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	18	軽量コンクリート
				22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	19	中コンクリート
				22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	20	マスコンクリート
⑥	⑬	内装改修工事	特記事項	22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	21	鉄筋の定着の方法及び長さ
				22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	22	鉄筋の定着の方法及び長さ
				22	壁紙張り	25	セルフレベリング材 塗り	④	鉄筋・コンクリート工事 耐震改修工事に準ずる	23	鉄筋の定着の方法及び長さ





章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
8	61 連続繊維補強後の仕上げ	・ 図示による ( )	9	2 断熱アスファルト防水改修工事	改修特記仕様書 3 章による	7	7 透水性アスファルト舗装改修工事	適用範囲：校舎前 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示	10	10 消防提出書類	・ 軽微な工事を実施した場合においても、当該工事の内容を記録し、消防用設備等試験結果報告書、関連図書、現場状況写真等を作成・整備し、防火対象物の関係者に提出すること。 ・ 設置届については書類作成の上、提出すること。
耐震改修工事	<耐震スリット> 62 スリットの方式	・ 完全 ・ 部分 ・ 図示による ( ) ・ 耐震スリットの部分詳細 ・ 図示による ( )	3	外断熱改修工事	断熱材 種類 厚さ (mm) ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スチなし) ・ 保温板 (2種b) ・ 保温板 (3種b) ・ A 種硬質ウレタンフォーム保温材 ・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く) ・ ロックウール ・ グラスウール 施工箇所 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外	9	環境配慮改修工事	路床の材料 種別 材料 厚さ (mm) ・ 盛土 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 [G] ・ 遮断層 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) ・ 凍上抑制層 ・ 再生クラッシャーラン [G] ・ クラッシャーラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下) ・ フィルター層 ・ 砂	その他		
	63 スリットの施工	既存撤去部の配管等の探査方法 ・ 鉄筋探査機 (金属探知機) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う ・ はつり出しによるスリットの幅及び深さ ・ 図示による ( )	4	ガラス改修工事	外装材 種類 防火性能 備考 ・ 既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし 下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修標準仕様書 4.1.4 による 工法 通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法) ・ 適用しない	9.7.2、3、5～9)		路床安定処理 ※添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメント [G] ・ 生石灰 (・特号 ・1号) ・ 消石灰 (・特号 ・1号) 添加量 (kg/m3) (目標CBR ・5以上) ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m <sup>2</sup> 以上 厚さ (mm) ・ 0.5～1.0 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水系数 ・ 1.5×10 <sup>-9</sup> ～1cm/sec 以上 試験 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない 路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない 路盤 路盤の構成及び厚さ ・ 図示 路盤材料 ※再生材クラッシャーラン [G] ・ クラッシャーラン鉄鋼スラグ [G] ・ ・ 図示 試験 路盤締固め度の試験 ※行う ・ 行わない 舗装 材料 厚さ (mm) ストレータアスファルト ・ 図示 試験 透水性アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない 舗装の平坦性 ※著しい不陸がないもの			
9	1 アスベスト含有建材の処理工事	施工調査 ※アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貨与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲 (・ 施工範囲) 貨与資料 (・) ・ 分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソファイト、クリソタイル、クロシドライト、トリモライト 分析方法 ※JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による ・ 材 料 名 定性分析 定量分析 ・ 箇所数 ( ) ・ 箇所数 ( ) ・ 箇所数 ( ) ・ 箇所数 ( ) ・ 箇所数 ( ) ・ 箇所数 ( ) ・ 箇所数 ( ) ・ 箇所数 ( ) サンプル数 1 箇所あたり 3 サンプル 採取箇所 ・ 図示 ・ アスベスト粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点 適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定点 (各施工箇所ごと) ・ 測定 1 処理作業前 処理作業室内 計 点 ・ 測定 2 調査対象室外部の付近 計 点 ・ 測定 3 処理作業中 処理作業室内 計 点 ・ 測定 4 負圧・除じん装置 出口吹出し風速1m/s 以下の位置 の排出吹出し口 計 点 ・ 測定 5 処理作業室外 (敷地境界) 計 点 ・ 測定 6 処理作業後 (シート養生中) 処理作業室内 計 点 ・ 測定 7 処理作業後シート 処理作業室内 計 点 ・ 測定 8 撤去後 調査対象室外部の付近 計 点 測定方法 測定 3 測定 1・2・4・6・7・8 測定 5 メンブレンフィルタ直径 (mm) 25 25 47 試料の吸引流量 (l/min) ・1 ・5 ・10 試料の吸引時間 (min) ・5 ・120 ・240 アスベスト含有建材の処理 ・ アスベスト含有吹き付け材の除去 除去対象範囲 ・ 図示 除去工法 ※9.1.3(b)(1)による 除去したアスベスト含有吹き付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ・セメント固化 除去したアスベスト含有吹き付け材等の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (熔融施設) ・ アスベスト含有保温材の除去 除去対象範囲 ・ 図示 除去したアスベスト含有保温材の処分 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (熔融施設) ・ アスベスト含有成形板の除去 除去対象範囲 ・ 図示 除去したアスベスト含有成形板の処分 ・ アスベスト含有せっこうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) ・ アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成形板 ・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (熔融施設)	5	断熱・防露改修工事	断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ 断熱打込み工法 種類 厚さ (mm) ・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ※押出法ポリスチレンフォーム保温材 (スチなし) ・ 保温板 (2種b) ・25 ・ 保温板 (3種b) ・25 ・ A 種硬質ウレタンフォーム保温材 ・ フェノールフォーム保温材 (3種2号を除く) 施工箇所 ・ 図示 ・ 断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・ B種1 厚さ (mm) ・25 ・30 施工箇所 ・ 図示 ・ 現場発泡断熱材 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による 植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・ 適用しない かん水装置 ・ 設置する (種類 ・) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない	6	屋上緑化改修工事	植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・ 適用しない かん水装置 ・ 設置する (種類 ・) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない		概略工事工程表 (参考図) 磯部小学校校舎バリアフリートイレ整備工事 No. 項目 月 準備 建築工事 電気設備工事 機械設備工事 書類整理・検査 備考 学校夏休み期間内に工事を終えること。 現場作業は7/22～8/31に実施するものとし、これによりがたい場合は、監督職員と協議すること。	





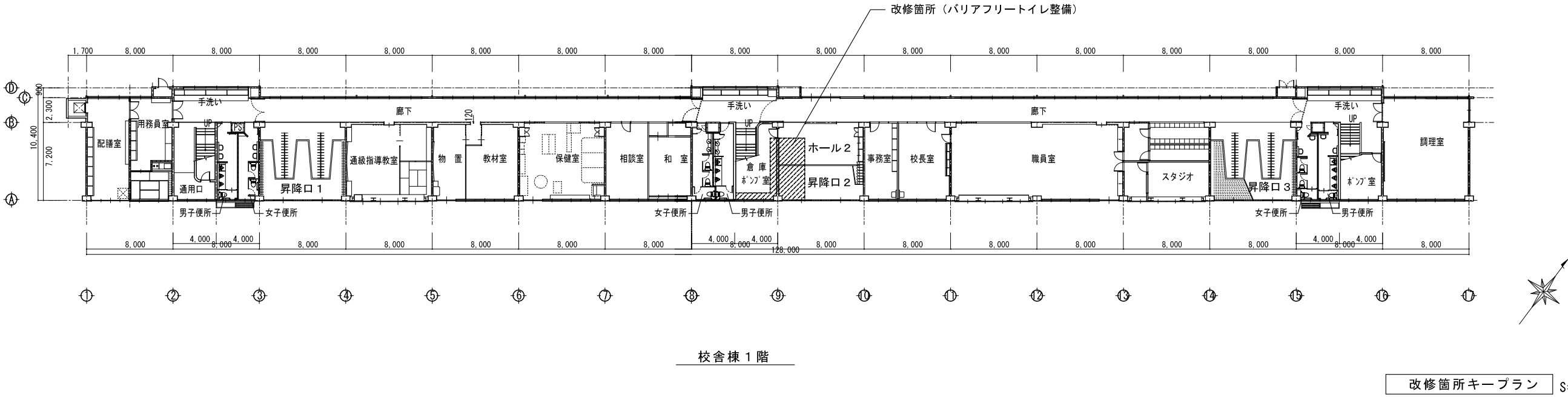
附近見取図 S=NS

配置図 S=1/600

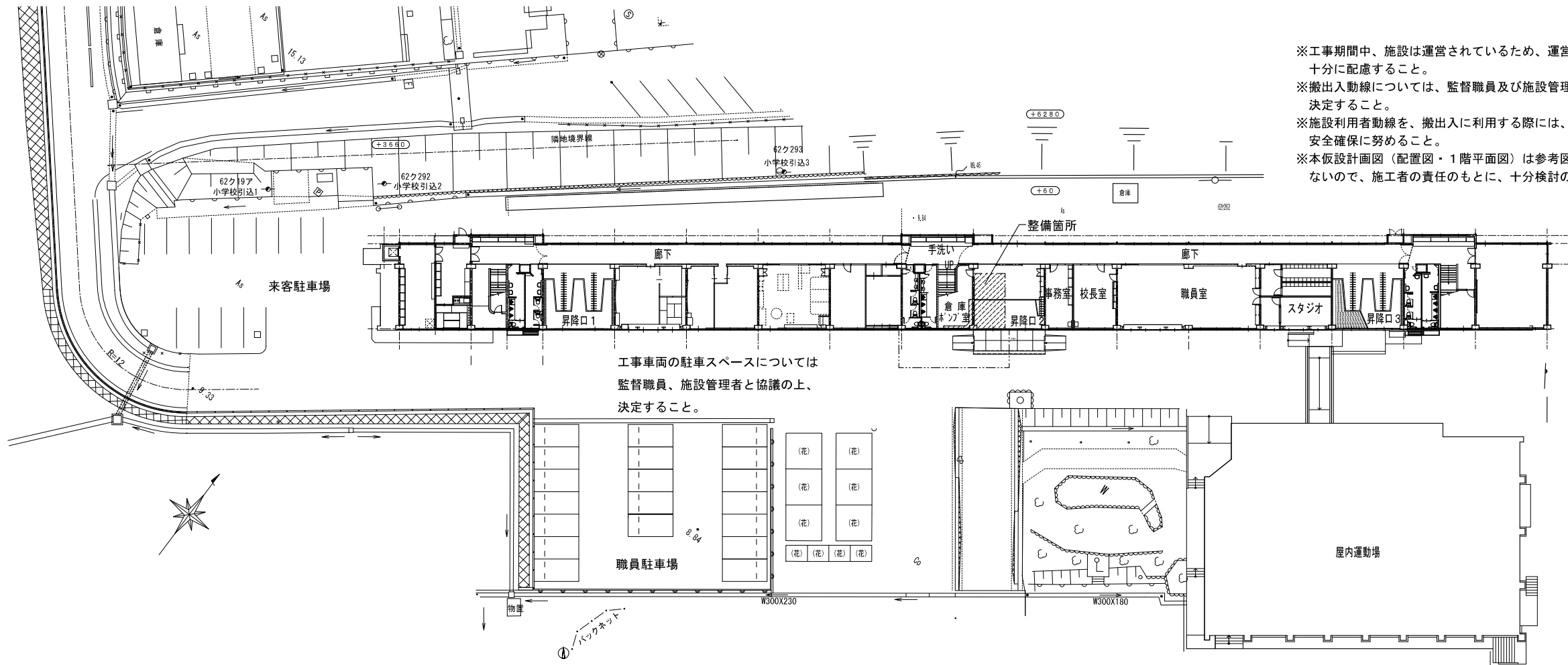
工事名称 磯部小学校校舎バリアフリースイレ整備工事	附近見取図 配置図	設計	一級建築士 登録 73286号 箕浦 成図	一級建築士 登録 343711号 箕浦 眞司	一級建築士事務所 箕浦設計 三重県志摩市阿見町鶴方 1229-6 電話 0599-43-0550	図面番号 A — 09
		訂正				
		A2→A3 70.7%縮小				

■内部仕上表（校舎棟 1 階）

室 名		床	床レベル	巾木	腰壁	壁	天井	廻縁	備 考
バリアフリー トイレ （新設）	改修前	木質フロア撤去（ホール部）				EP-G塗 撤去（新設バリアフリートイレ廻り）	ロックウール化粧吸音板 t=12 一部撤去	塩ビ 一部撤去	袖壁撤去
		磁器質タイル300×300一部撤去 モルタル共（昇降口部）				モルタル下地 撤去	石こうボードt=9.5 軽量鉄骨下地 一部撤去		
	改修後	複層ビニル床シート（防汚・抗菌・抗ウイルス・防滑） t=2.5	+50	（室内）ステンレスH=60	メラミン不燃化粧板 t=3.0(抗菌・抗ウイルス・消臭)	（室内） メラミン不燃化粧板 t=3.0(抗菌・抗ウイルス・消臭)	化粧石こうボード t=9.5	塩ビ 新設	壁・天井 グラスウール敷込み 厚100 24kg/m³
		（木質フロア撤去部） モルタル下地新設			ケイカル板t=5.0+構造用合板（特類） t=18.0 軽量鉄骨下地 (W=100)	強化石こうボード t=12.5+12.5 軽量鉄骨下地 (W=100)	軽量鉄骨下地 新設		壁・石こうボード・軽量鉄骨下地 スラブまで立ち上げ（耐火遮音壁）
		（タイル撤去部）モルタル下地 + 土間コンクリート新設				（室内 ポンプ室側）メラミン不燃化粧板 t=3.0(抗菌・抗ウイルス・消臭)			
				（室外）ビニル巾木 一部 ワイド		強化石こうボード t=12.5+12.5 直貼り（GL工法同等） （室外） EP-G塗り（ローラー）（強化石こうボード継目処理（テーバーエッジ）） 強化石こうボード t=12.5+12.5 軽量鉄骨下地 (W=100)			
昇降口 2	改修前	磁器質タイル300×300	-100～	人研ぎ H100～150		EP-G塗 一部撤去（ポンプ室側）	ロックウール化粧吸音板 t=12 一部撤去	塩ビ	
		土間コンクリート	-130			モルタル下地	石こうボードt=9.5一部撤去 軽量鉄骨下地 残置		
	改修後	既存のまま	-100～	既存のまま		EP-G塗 一部塗替え（ローラー）	ロックウール化粧吸音板 t=12 一部新設	塩ビ 一部新設	
			-130			モルタル塗り	石こうボードt=9.5一部新設 軽量鉄骨下地再利用		
ホール 2	改修前	木質フロア	±0	米桐OP H75		EP-G塗 一部撤去（ポンプ室側）	ロックウール化粧吸音板 t=12 一部撤去	塩ビ	
		モルタル下地				モルタル下地	石こうボードt=9.5一部撤去 軽量鉄骨下地 残置		
	改修後	既存のまま	±0	既存のまま		EP-G塗 一部塗替え（ローラー）	ロックウール化粧吸音板 t=12 一部新設	塩ビ 一部新設	
						モルタル塗り	石こうボードt=9.5一部新設 軽量鉄骨下地再利用		
倉庫 ポンプ室	改修前	モルタル塗り	-10	モルタル塗り		モルタル塗り 現況のまま	モルタル塗り		
		土間コンクリート							
新設 配管スペース	改修後	モルタル塗り H=40 新設	+30	既存のまま		ケイカル板 t=8.0	既存のまま		
						構造用合板 t=12.0 軽量鉄骨下地 (W=65)			



工事名称 磯部小学校校舎バリアフリートイレ整備工事	内部仕上表 改修箇所キープラン	設計	一級建築士 登録 343711号 箕浦 成図	一級建築士 登録 73286号 箕浦 眞司	一級建築士事務所 箕浦設計 三重県志摩市阿児町鶴方 1229-6 電話 0599-43-0550	図面番号 A - 10
		訂正				
		A2→A3 70.7%縮小				



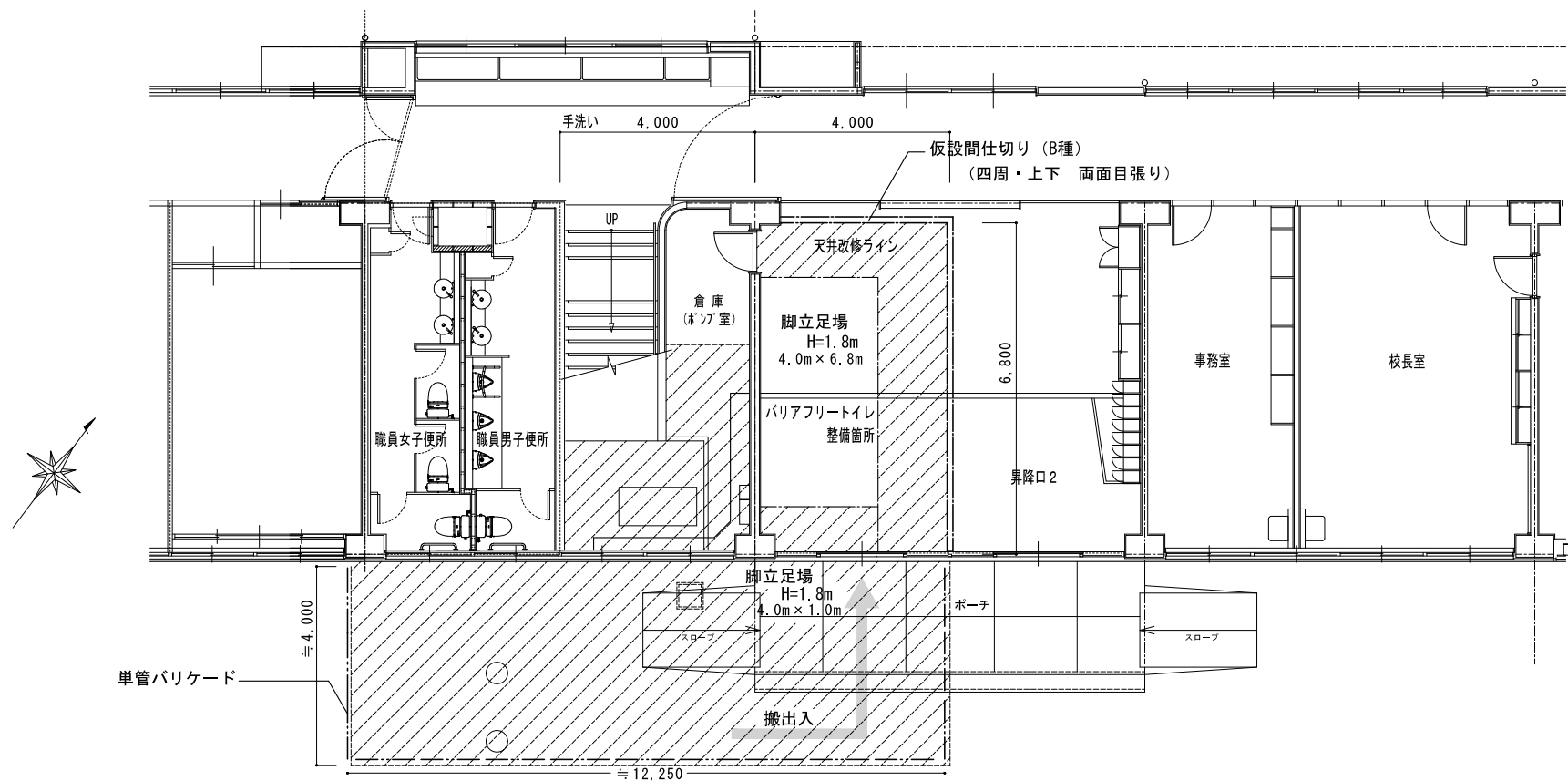
※工事期間中、施設は運営されているため、運営に支障のないよう、十分に配慮すること。

※搬出入動線については、監督職員及び施設管理者と協議の上、決定すること。

※施設利用者動線を、搬出入に利用する際には、施設利用者の安全確保に努めること。

※本仮設計画図（配置図・1階平面図）は参考図面であり、施工条件として指定したものではないので、施工者の責任のもとに、十分検討の上、施工すること。

仮設計画図（配置図）  
S=1/400



※工事期間中における、学校関係者の倉庫（ポンプ室）利用について、監督職員（学校関係者）に確認し、必要に応じて仮設出入口を設けること。

養生範囲（シート・ベニヤ）  
対象：外壁・内壁・床・建具・ガラス・器具類

仮設計画図（1階平面図）  
S=1/100

参考図

工事名称  
磯部小学校校舎バリアフリートイレ整備工事

仮設計画図（参考図）

設計

訂正

A2→A3 70.7%縮小

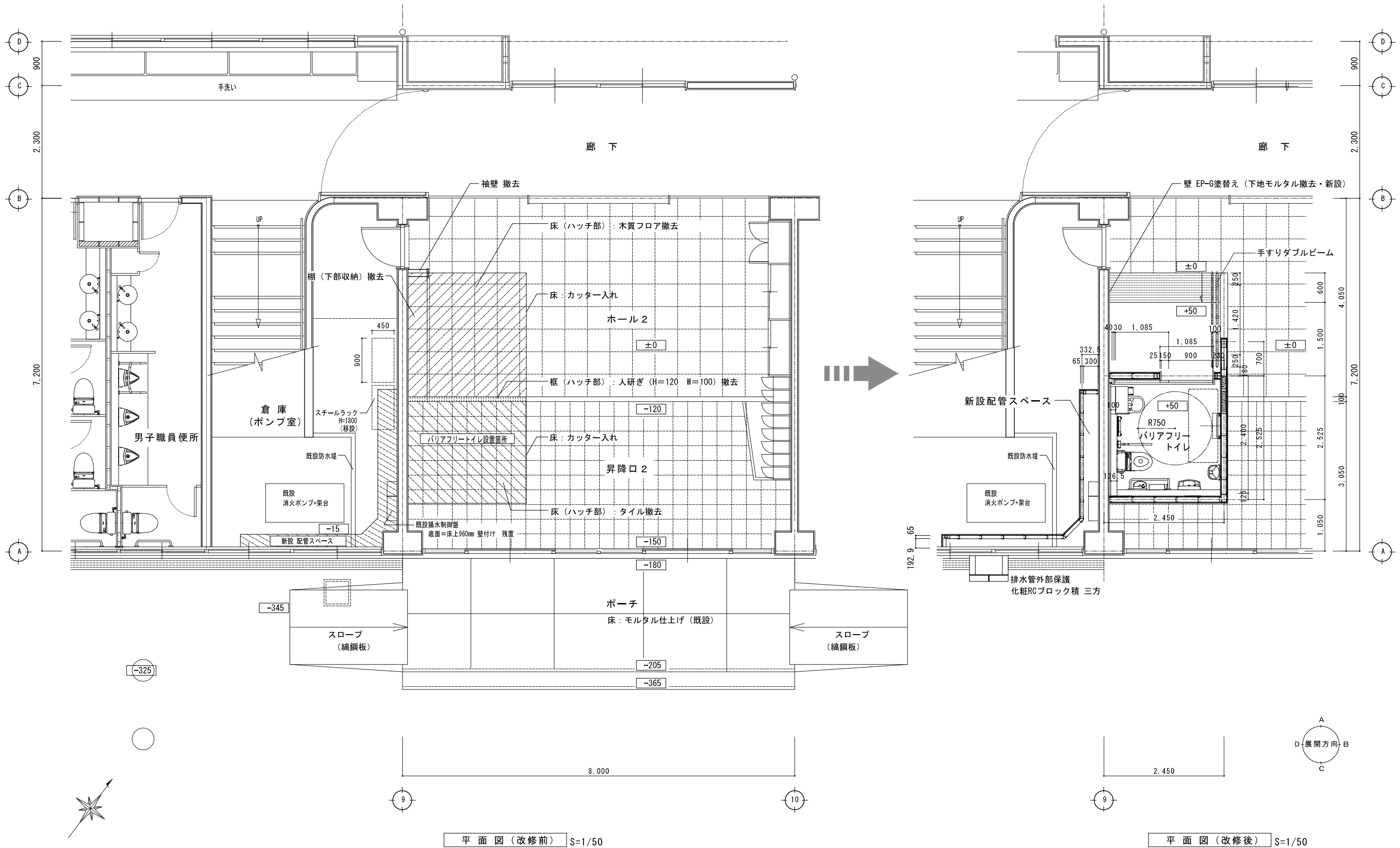
一級建築士 登録 343711号  
箕浦 成図

一級建築士 登録 73286号  
箕浦 眞司

一級建築士事務所 箕浦設計  
三重県志摩市阿児町鶴方 1229-6 電話 0599-43-0550

図面番号

A-11



工事名称  
磯部小学校校舎バリアフリートイレ整備工事

平面図 (改修前・改修後)

設計

訂正

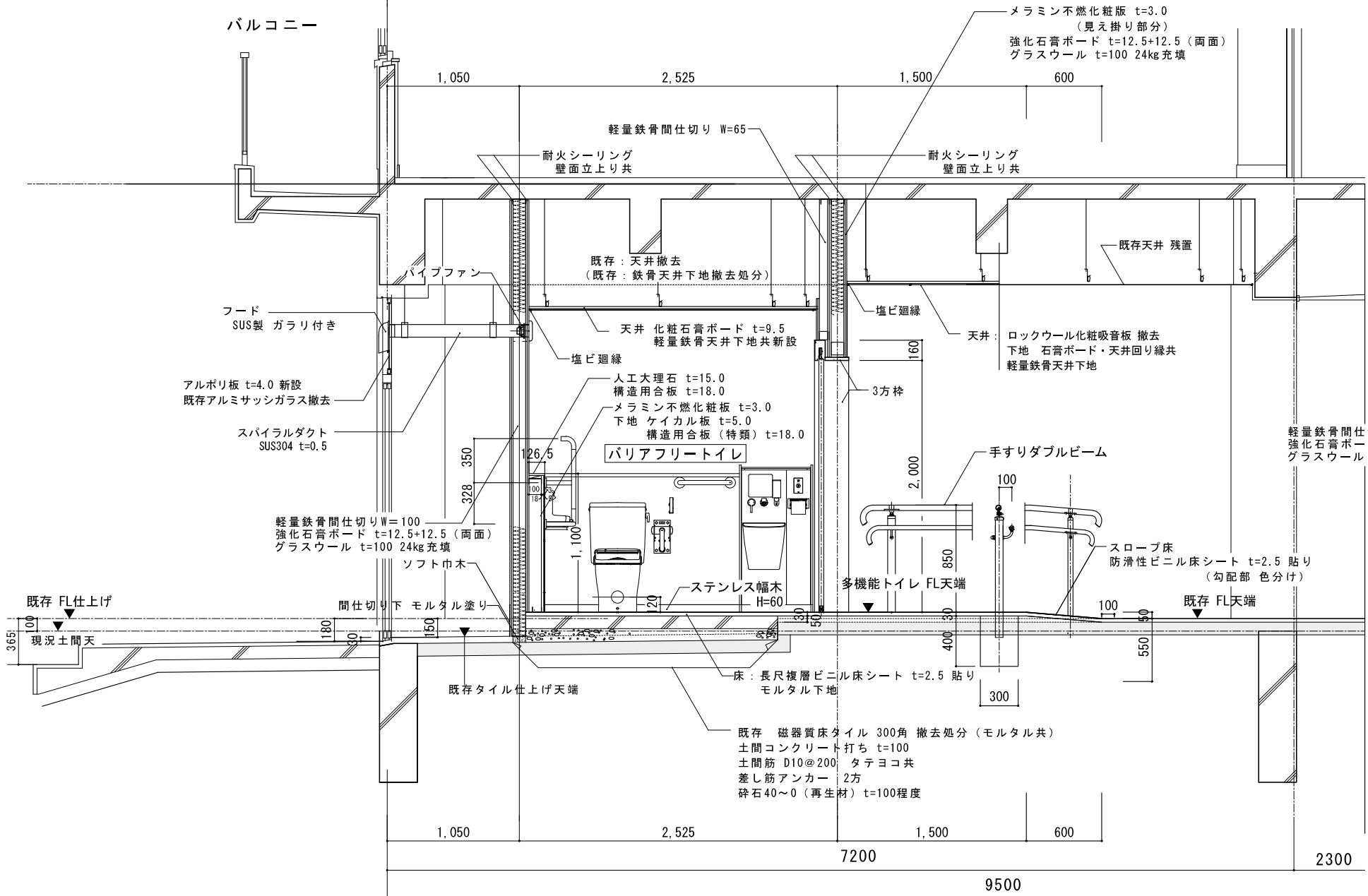
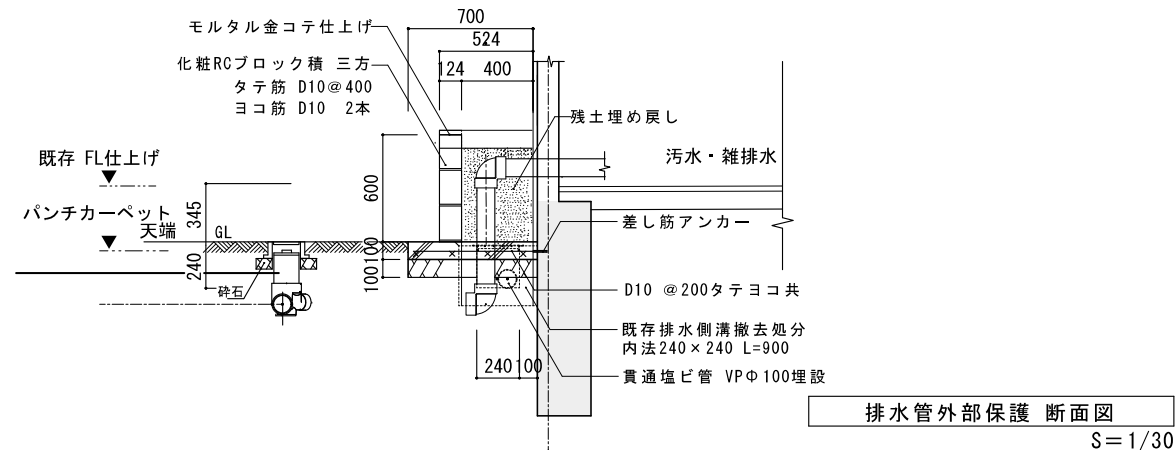
一級建築士 登録 343711号  
箕浦 成国

一級建築士 登録 73286号  
箕浦 眞司

一級建築士事務所 箕浦設計  
三重県志摩市阿児町鶴方 1229-6 電話 0599-43-0550

図面番号

A-12



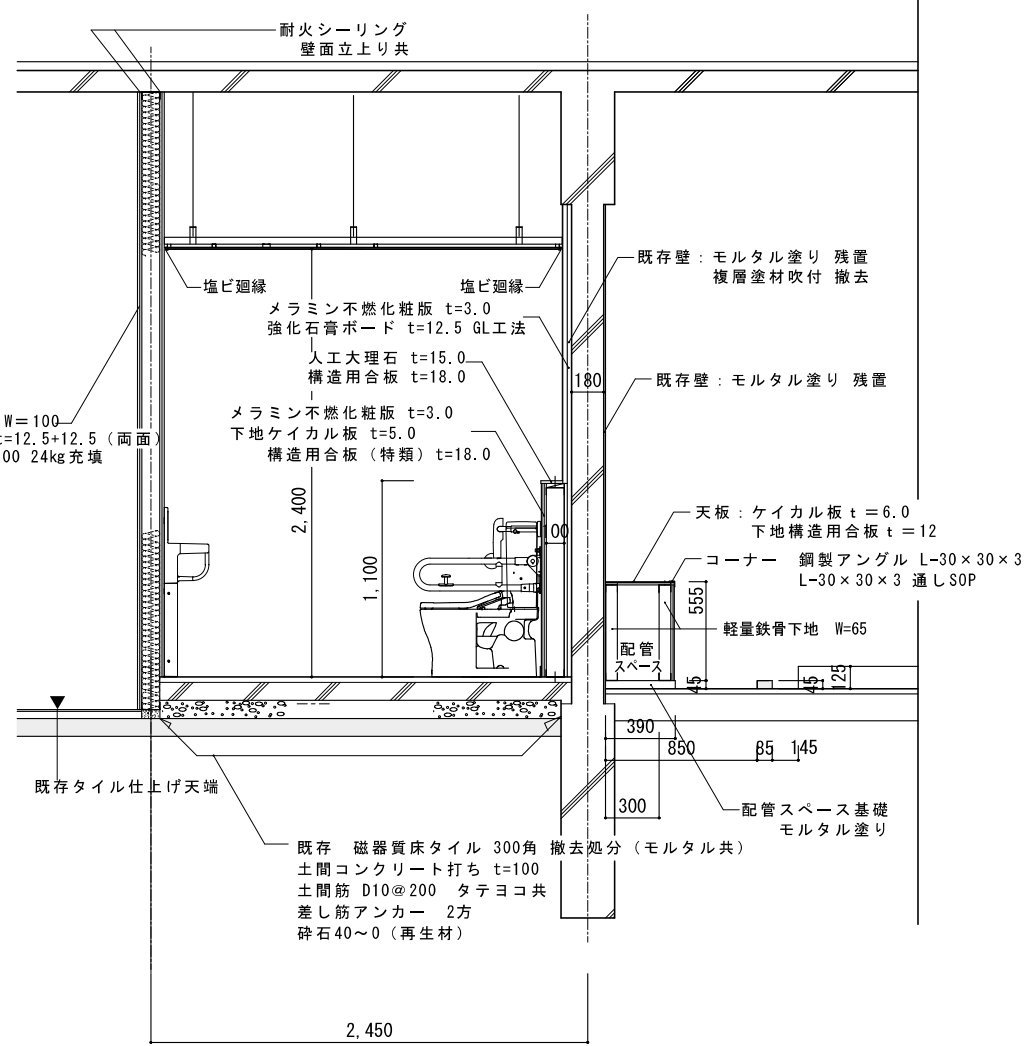
バリアフリートイレ断面詳細図 (1) S=1/30

参考品番 てすり HR-W8.5 ダブルビーム  
(朝日スチール工業又は同等品)

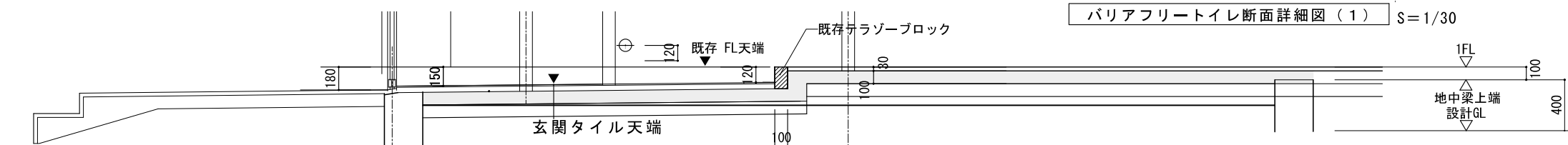
設計条件  
設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のP種の荷重に依る。  
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m<sup>2</sup> (10t/m<sup>2</sup>)

備考  
1. 外装について (SUS品を除く)

・支柱	・垂鉛・アルミ・マグネシウム
・手すりビーム	・合金めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・手すり支持金具上段	・溶融垂鉛めっきの上高耐候性樹脂粉体塗装
・手すり支持金具 M16	・垂鉛・アルミ・マグネシウム合金めっき
・手すり継手	・溶融垂鉛めっきの上防錆着色処理
・手すり継手	・溶融垂鉛めっきのみ
・ボルト	
・大ワッシャ	
・袋ナット	
・ワッシャ	
・Sワッシャ	



バリアフリートイレ断面詳細図 (2) S=1/30

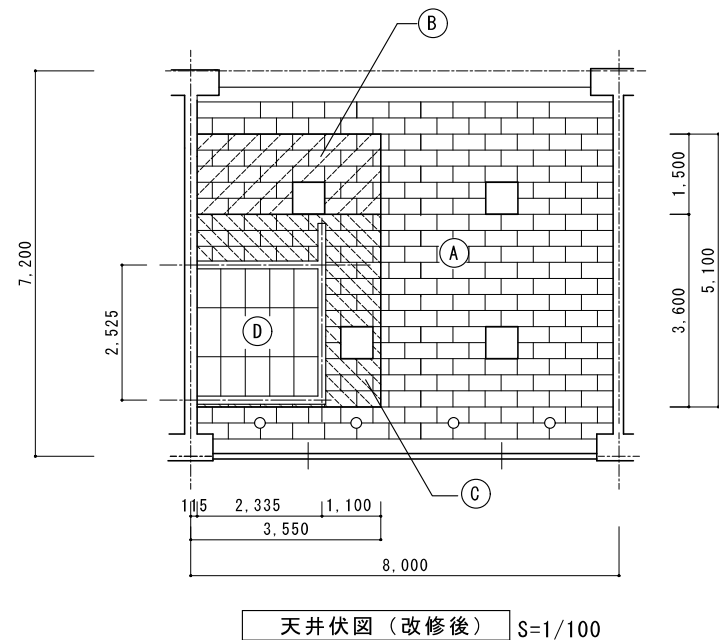
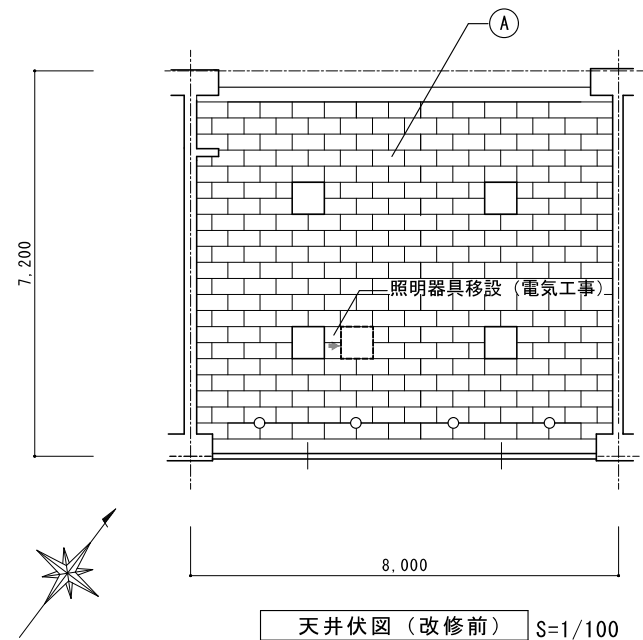


現状玄関 床断面図 S=1/30

工事名称 磯部小学校校舎バリアフリートイレ整備工事	バリアフリートイレ 断面詳細図 (1) (2)	設計	一級建築士 登録 343711号 箕浦 成国	一級建築士 登録 73286号 箕浦 眞司	一級建築士事務所 箕浦 設計 三重県志摩市阿児町鶴方 1229-6 電話 0599-43-0550	図面番号 A-13
	排水管外部保護 断面図	訂正				



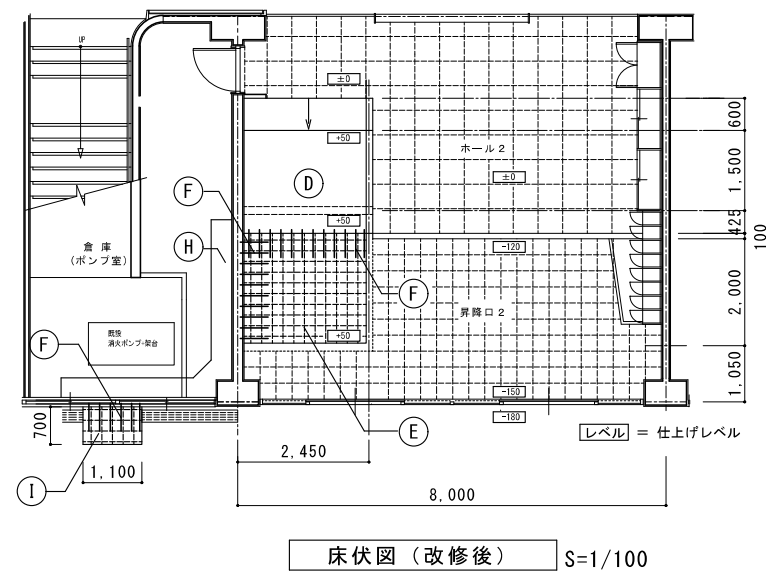
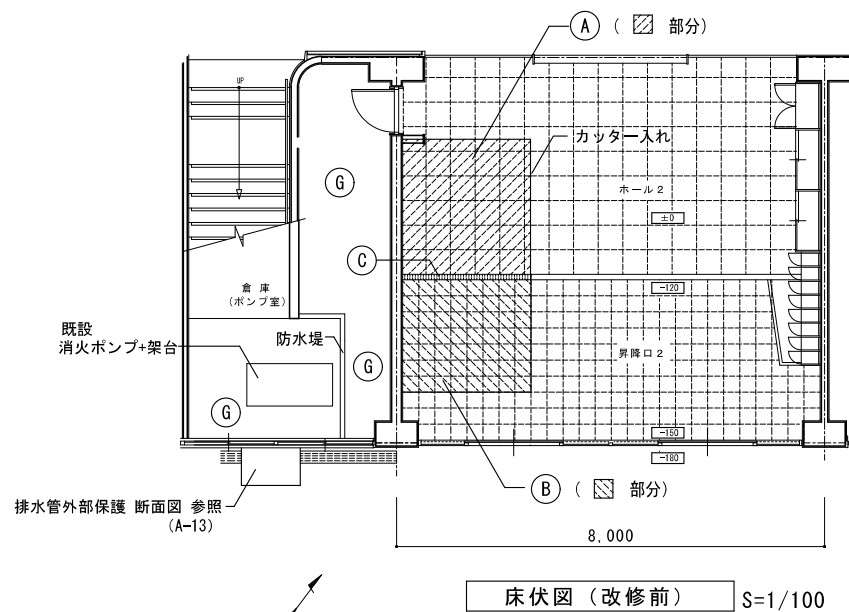




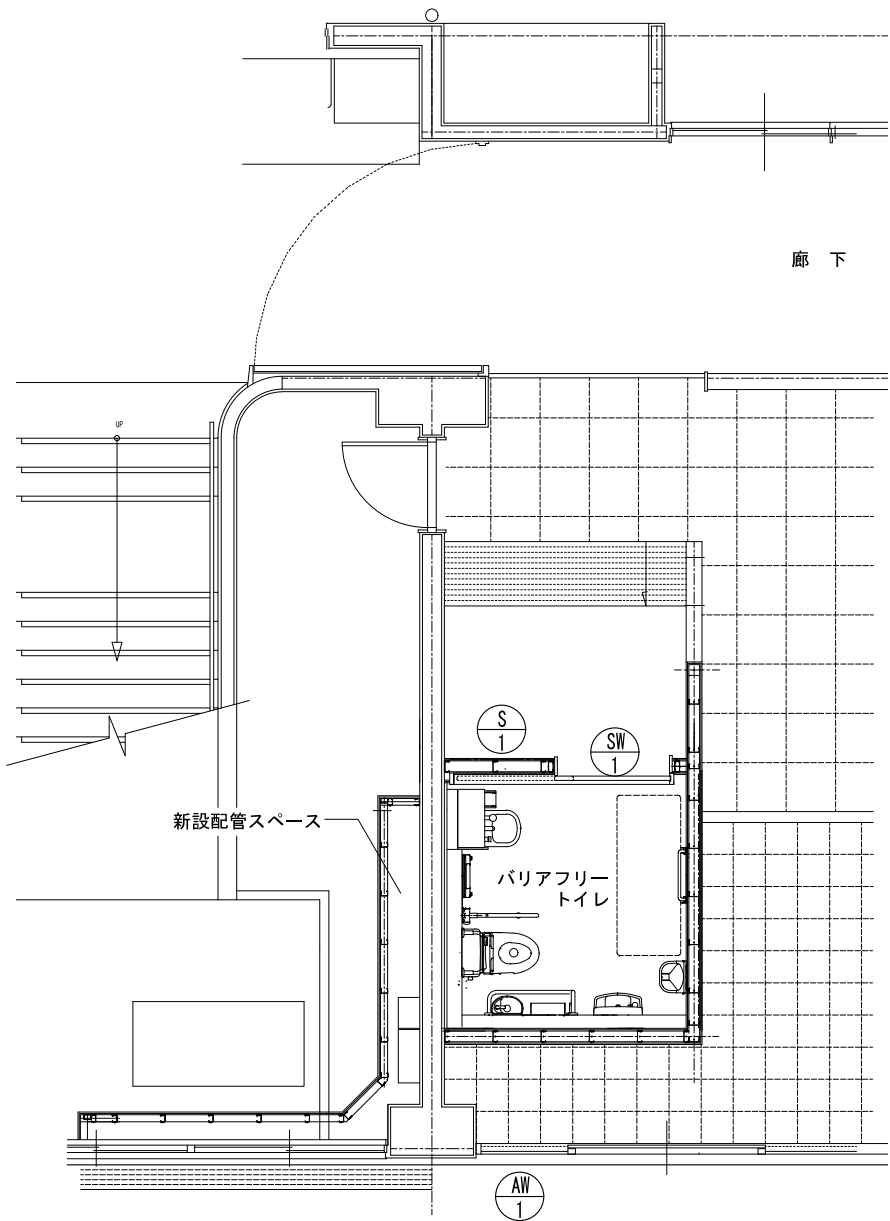
天井仕上げ

A	既設ロックウール化粧吸音板 t=12
	捨貼り 石こうボードt=9.5 軽量鉄骨下地
B	ロックウール化粧吸音板 t=12 既設撤去の上、新設 (塩ビ廻縁共)
	捨貼り 石こうボードt=9.5 既設撤去の上、新設 軽量鉄骨下地 既設残置
C	ロックウール化粧吸音板 t=12 既設撤去の上、新設 (塩ビ廻縁共)
	捨貼り 石こうボードt=9.5 及び 軽量鉄骨下地 既設撤去の上、新設
D	ロックウール化粧吸音板 t=12 既設撤去
	捨貼り 石こうボードt=9.5 及び 軽量鉄骨下地 既設撤去
	化粧石こうボード t=9.5 新設 (塩ビ廻縁共)
軽量鉄骨下地 新設 グラスウール敷込み 厚100 24kg/m <sup>3</sup>	

既設天井仕上げ、捨貼り、下地について、現況を確認すること。



A	木質フロア 撤去
B	磁器質タイル 300×300 撤去 (モルタル共)
C	框 人研ぎ 120×100 撤去
D	モルタル塗り t=0~50 金コテ
E	モルタル塗り t=50 金コテ
F	土間コンクリート t=100 D10@200 シングル タテヨコ共 砕石 (再生材)
G	差筋アンカー D10
H	既設モルタル塗り
I	モルタル塗り H=40
J	土間コンクリート t=100 D10@200 シングル タテヨコ共 栗石 t=100



建具キープラン S=1/50

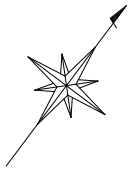
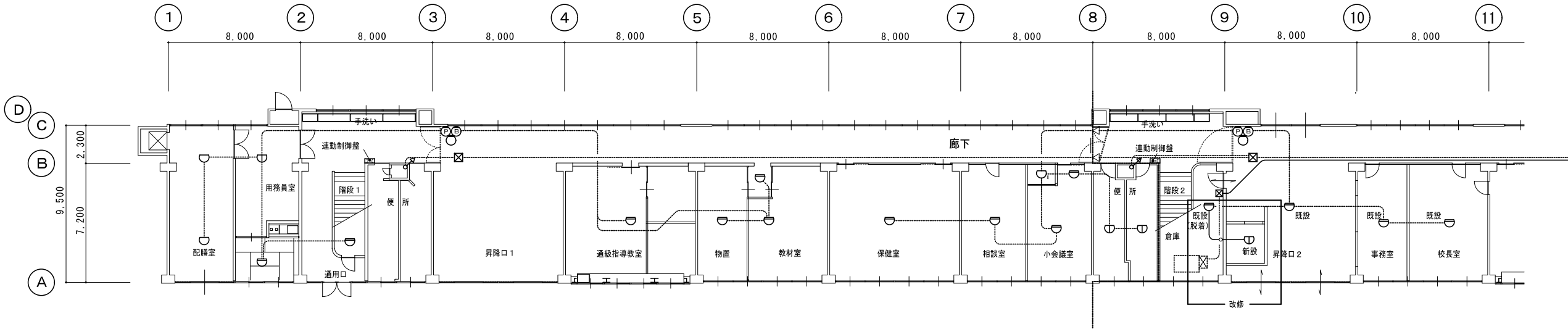
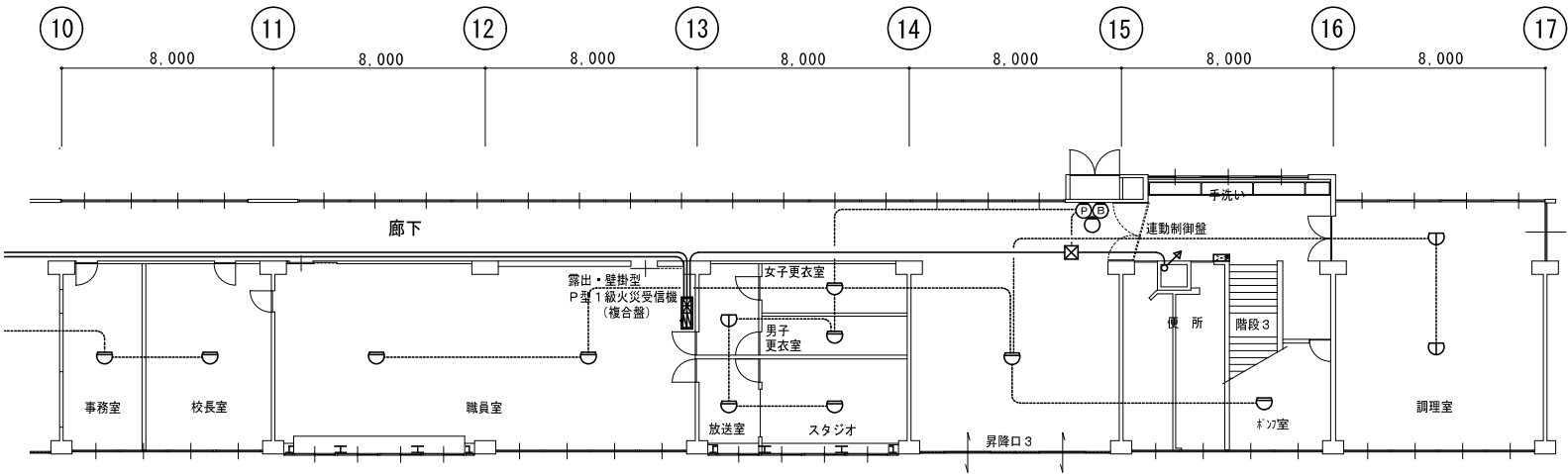
SW 1 鋼製軽量上吊り引き戸（手動） S=1/50		AW 1 アルミパネル S=1/50	
バリアフリートイレ	1ヶ所	昇降口	1ヶ所
		 色味は協議による	
扉 スチール t=0.6 焼付塗装 枠 スチール t=1.6 焼付塗装 沓摺 ステンレス（チャンネル型）		不燃アルミ複合板 (t=4.0) （表面材：アルミニウム ポリエステル塗装 両面）	
窓 仕上塗装 ガラリ 仕上塗装 引き棒（ステンレス・抗菌）、点検カバー（スチール） 上枠（スチール）、堅枠（スチール）		（芯材：発砲ポリエチレン芯材） 孔開け加工（換気ダクト部）	
小窓・ガラリ（網入り型板ガラス6.8・アルミ 防虫網） キックプレート（ステンレス 両面）		四周・孔開け部 シーリング（両面）	

S 1 バリアフリートイレ サイン S=1/30	
	アルミ複合板 4mm + アルミ複合板 4mm (捨板)
	インクジェットプリント
	長期用光沢塩ビシート（巻込み） UVカットラミネート（ツヤなし）
	全面 両面テープ（捨板ビス止め）
※図版、サイズについては、監督職員と協議の上、決定すること	

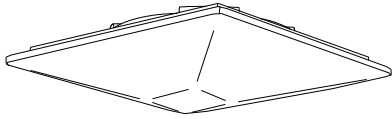

章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項																																	
● 一 般 事 項	③ 足場その他	○ 別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が定めたものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり設置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）第1編第1章2.2より足場の種別は以下による。 ・ 内部足場（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種 ） ・ 外部足場（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種 ）		● 一 般 事 項					● 電 力 ・ 受 電 電 ・ 発 電	5 分電盤・実験盤	本工事の分電盤・実験盤で、分岐に用いる配線用遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-1（附属書XC（参考）「電灯分電盤用協約形回路遮断器」）による。 また、漏電遮断器の寸法と定格は、JIS C 8201-2-2：附属書XC（参考）「電灯分電盤用協約形回路遮断器」による。																																
	④ 施工図等	工事が完成（指定部分に係わる完成を除く）したときは、本工事で作成する施工図等のうち、下記の原図及び複写図（1部）を監督職員に提出する。ただし、製作図等で原図として提出できないものは、原因に代わるものとしてよい。 なお、施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲する。 機器製作図 一式、 制御システム図 一式 試験成績書 一式、 機器・配管固定の施工図 一式		● 共 通 事 項	1 電気工事士	最大電力 500 kW 以上の場合においても、第一種電気工事士により施工を行う。			6 インバータ装置の 規約効率	三相可変速運転用インバータ装置の規約効率は、次の数値以上とする。 <table><tr><td>電動機出力 (kW)</td><td>0.4</td><td>0.75</td><td>1.5</td><td>2.2</td><td>3.7</td><td>5.5</td><td>7.5</td></tr><tr><td>規約効率 (%)</td><td>86.0</td><td>88.5</td><td>92.0</td><td>93.0</td><td>94.0</td><td>94.0</td><td>94.5</td></tr></table> <table><tr><td>電動機出力 (kW)</td><td>11</td><td>15</td><td>18.5</td><td>22</td><td>30</td><td>37</td><td>45</td></tr><tr><td>規約効率 (%)</td><td>94.5</td><td>95.0</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td><td>95.5</td></tr></table> （1）規約効率は、JEM-T245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。 （2）規約効率は、JIS C 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。		電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5	規約効率 (%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5	電動機出力 (kW)	11	15	18.5	22	30	37	45	規約効率 (%)	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5
	電動機出力 (kW)	0.4	0.75	1.5	2.2	3.7	5.5	7.5																																			
	規約効率 (%)	86.0	88.5	92.0	93.0	94.0	94.0	94.5																																			
	電動機出力 (kW)	11	15	18.5	22	30	37	45																																			
	規約効率 (%)	94.5	95.0	95.5	95.5	95.5	95.5	95.5																																			
	⑤ 完成図等	完成図（オリジナルファイルも提出）にPDF形式を加える（PDFは1ファイルにまとめる）PDFより縮刷製本を作成。保全に関する資料を含め、部数等は監督職員の指示による。		● 事 項	2 機器変図	変図の形状及び寸法は、概略を示す。				7 低圧配電盤	低圧配電盤に用いる配線用遮断器は増形とし、全警報接続点とする。																																
	⑥ 電源周波数	6 0 Hz ・ 5 0 Hz		● 共 通 事 項	3 呼び線	長さ 1m 以上の入線しない電線管には、1.2mm 以上の呼び線を挿入する。				8 自家発電設備 の配管工事等	原動機・発電機と付属各機器間の燃料油、冷却水などの配管、制御用配線は、監督職員の承認を受けて多少相違しても差し支えない。																																
	7 耐震措置	設備機器の固定は、次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 2005 年版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。 1）設計用水平地震力 機器の重量 [kg] に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。 設計用標準水平震度		● 事 項	4 フラッシュプレート	フラッシュプレートは、図面に特記なき場合は次による。 ○ 金属製（ステンレス、新金属も含む） ・ 樹脂製				9 太陽電池アレイ の設置	太陽電池アレイの配置が決定した際、周辺環境への影響（日影・反射光等）を監督職員に報告すること。																																
				● 事 項	5 電線本数・管路等	分電盤、制御盤、端子盤などの二次側以降の配管経路、電線の太さ、電線本数、管径等は、監督職員の承認を受けて変更しても差しつかえない。 ただし、相違する場合は監督職員の承認を受ける。				10 設備機器容量等	本工事及び別契約の関連工事において設備機器容量等が相違する場合は、関連する設備の施工及び機器製作前に監督職員と協議し、指示を受けること。																																
			● 事 項	6 金属管の塗装	次の露出配管は、塗装を行う。 （ ・ 屋外の配管 ○ 露天井室内の配管 ・ ）																																						
			● 事 項	7 合成樹脂管配線	合成樹脂製可とう電線管（P 管）及び付属品は、タイプ - 25 のものを使用する。 なお、電力用位置ボックス類は原則として合成樹脂製とするが、コンクリート打ち込み部分は金属製としても良い。 ただし、金属製とする場合は当該ボックスには接地を施すものとする。																																						
			● 事 項	8 薄鋼電線管	薄鋼電線管は表示されているものと同一外形のねじなし電線管を使用しても良い。																																						
			● 改 修 一 般 事 項	9 保護管	ケーブル配線の保護管は、標準仕様書の金属管配線、合成樹脂管配線の項による。																																						
			● 改 修 一 般 事 項	10 最上階の 埋め込み配管	最上階の天井スラブへの埋め込み配管は、原則として避けるものとする。																																						
			● 改 修 一 般 事 項	11 地中配線の 埋設深さ等	地中配線で、特記なき埋設深さは 0.6m 以上とする。 なお、地中配線には標準シート等（2 倍長以上重ね合）を設ける。																																						
			● 改 修 一 般 事 項	12 ハンドホールの蓋	ハンドホール等の鉄蓋は、鎖式詰込みで用途名を表示する。 構内配電線路の用途名（ ・ 電力 ・ ） 構内通信線路の用途名（ ・ 通信 ・ ）																																						
			● 改 修 一 般 事 項	13 電力・電話の 引き込み	電力及び電話引き込み線の引付方法、位置については電力会社及び電気通信事業者と打ち合わせのうえ監督職員と協議により施工する。また、外線工事負担金などの調査報告を監督職員に速やかに行う。																																						
			● 改 修 一 般 事 項	14 機器取付高さ	図面に特記無き場合は、次表の「機器標準取付高さ」による。																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項		「機器標準取付高さ」																																						
			● 改 修 一 般 事 項</																																								

凡例

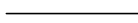
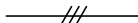
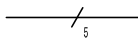
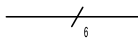
記 号	名 称	摘 要
	受 信 機	P-1-20L+6
Ⓟ	発 信 機	P型1級
Ⓑ	電 鈴	150m/m
○	表 示 灯	
	スポット型感知器	差動式 2種
	スポット型感知器	定温式 1種
	スポット型感知器	定温式 特種
	スポット型感知器	定温式 1種防水型
	煙 感 知 器	光電式 2種
	煙 感 知 器	光電式 2種点検口付
Ⓢ	スポット型感知器	光電式 3種連動用
Ⓔ	自動閉鎖装置	ラッチ式

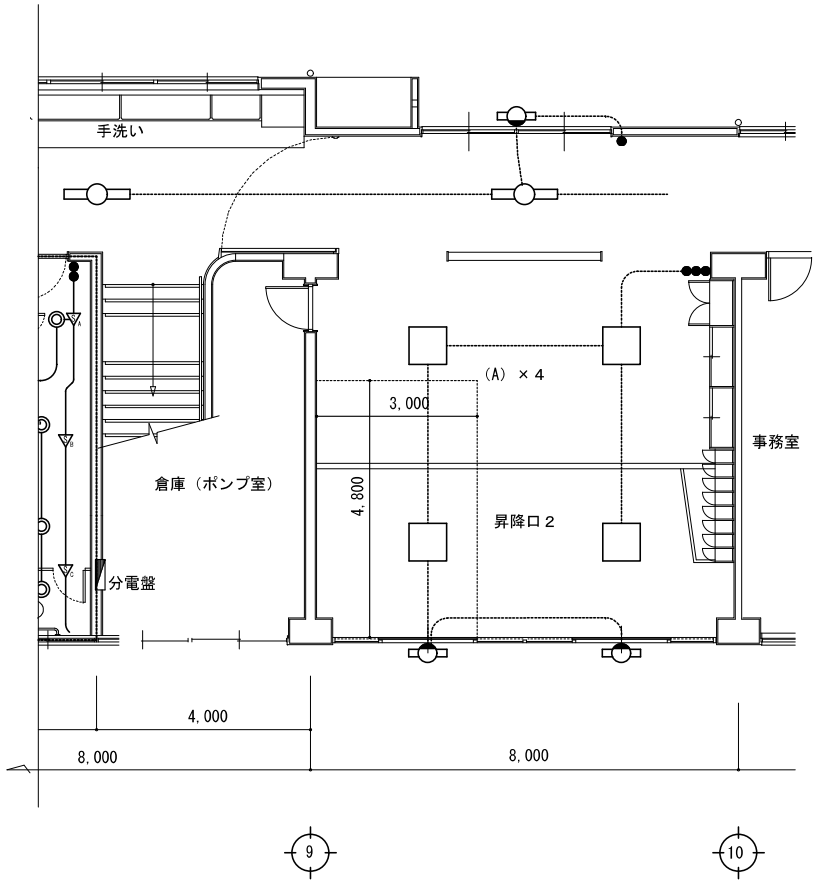


1 階平面図 S=1/200















A	LEDシーリングライト	B	LEDダウンライト 150形
	参考品番：LGBZ3426		参考品番：LRS1-13
<div>既設</div> <div></div> <div>調光可能（約5～100%） 器具光束4950lm、消費電力50W、電圧100V Ra83、昼光色（6500K）／電球色（3000K） カバー：アクリル（乳白つや消し） 水平天井専用 プッシュプル方式、カチットF 竿縁天井取付アダプタ対応</div>		<div>新設</div> <div></div> <div>調光タイプ（約5～100%） 器具光束1480lm、消費電力10.6W、電圧100V</div>	

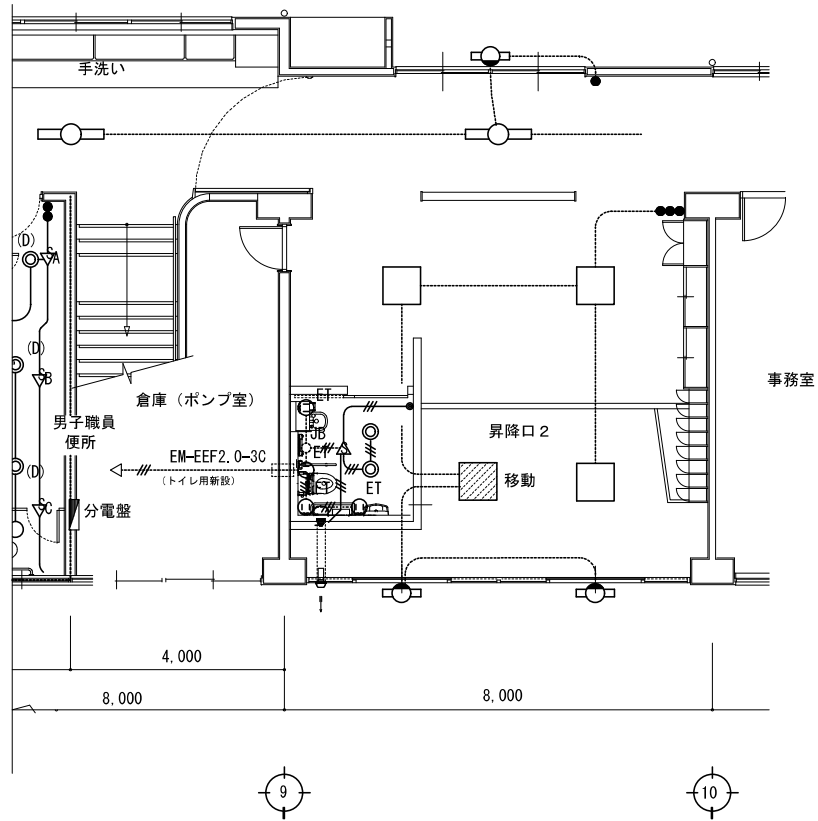
特記なき配線は下記による

	EM-EEF1.6-2C
	EM-EEF1.6-3C
	EM-EEF1.6-2C+3C
	EM-EEF1.6-3Cx2



1 階平面図（改修前） S=1/100

凡 例		
記 号	名 称	
	電 灯 盤	
	LED灯	ライトバー
	ダウンライト	
	換気扇	
	スイッチ	片切
	スイッチ	表示灯付
	人感センサー	換気扇連動型
	センサー用切替スイッチ	2 連
	コンセント	2 P 1 5 A
	コンセント	2 P 1 5 A + E T
	コンセント	2 P 1 5 A x 2 + E T 防水
	警報表示盤	
	コール用押ボタン	
	警報ランプ付ブザー（防雨形）	



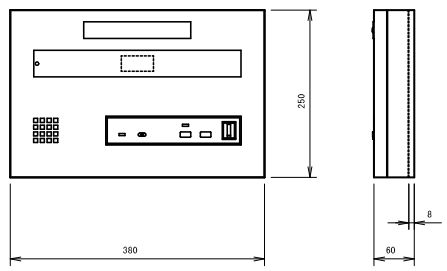
1 階平面図（改修後） S=1/100

工事名称  磯部小学校校舎バリアフリースイレ整備工事	電灯・コンセント設備図	設計	一級建築士 登録 343711号 箕浦 成図	一級建築士 登録 73286号 箕浦 眞 司	一級建築士事務所 箕 浦 設 計 三重県志摩市阿見町鶴方 1229-6 電話 0599-43-0550	図面番号  E — 03
		訂正				
	A2→A3 70.7%縮小					

CN

1窓用呼出表示器

CBN-1C  
(参考品番)

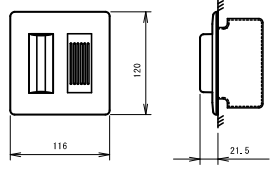


電源電圧	AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V)
形 状	壁取付形
材 質	SPCC t1.2
窓 数	1窓
表示方式	呼出音と表示窓点灯

○

ブザー付廊下灯

NR-BZLB27  
(参考品番)

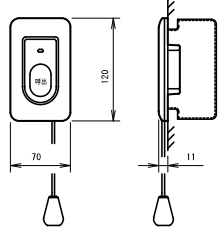


形 状	壁埋込型 (JIS2個用スイッチボックス)
材 質	プレート: 自己消火性樹脂 ランプカバー: ポリカーボネート
備 考	ブザー付

□

呼出ボタン (引きひも付)

NBR-7HWA  
(参考品番)



形 状	壁埋込型 (JIS1個用スイッチボックス)
材 質	自己消火性樹脂
備 考	引きひも式、押ボタン式両用

特記なき配線は下記による

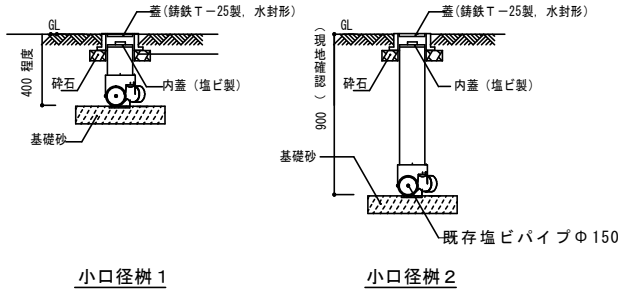
	EM-EEF1.6-2C
	EM-EEF1.6-3C
	EM-EEF1.6-2C+2C
	EM-EEF1.6-2C+3C
	EM-EEF1.6-3Cx2

工事名称 磯部小学校校舎バリアフリートイレ整備工事	トイレ呼出し設備図	設計	一級建築士 登録 343711号 箕浦 成図	一級建築士 登録 73286号 箕浦 眞司	一級建築士事務所 箕浦設計 三重県志摩市阿見町鶴方 1229-6 電話 0599-43-0550	図面番号 E-04
		訂正				
		A2→A3 70.7%縮小				



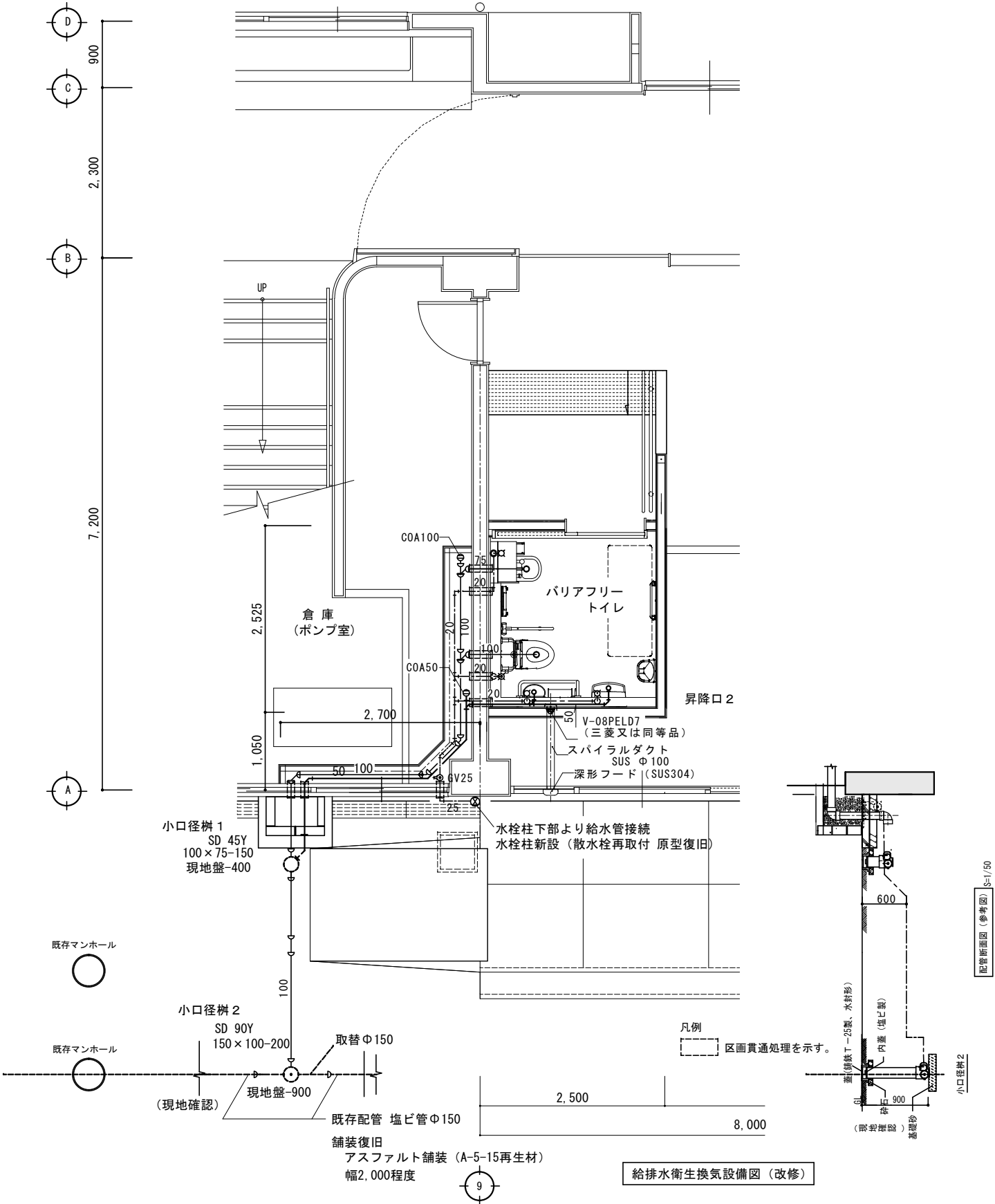


記 号	名 称
	給 水 管
	汚 水 管 ( 露 出 銅 管 ) ( 埋 設 塩 ビ 管 )
	雑 排 水 管
	(汚水管・雑排水管 遮音シート張り)
	給 水 栓
	弁 類
	床 上 掃 除 口



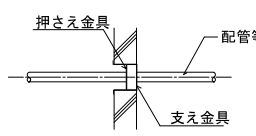
衛 生 器 具 表									
	器 具 名	参 考 品 番 (TOTO又は同等品)		数 量	バリアフリー				
		品 番	附 属 品						
1	洋風大便器 (タンク式)	CS597BPC			1				
2	密結タンク	SH598BAY			1				
3	ウォシュレット	TCF5840AUPN	洗浄用リモコン		1				
4	塩ビ排水管 (直管)	Y9207			1				
5	腰掛便器用手すり L型	T112CL11	(オーダー)		1				
6	固定金具 アンカーボルト	T110D3R			3				
7	可動式手すり	T112HK7R	はね上げ・ロック付き		1				
8	固定金具 アンカーボルト	T110D17S			1				
9	背もたれ	EW C285CS			1				
10	固定金具 アンカーボルト	T110D3R			2				
11	棚付二連紙巻器	YH702			1				
12	埋込手洗い器	LSW570APR	自動水栓 発電タイプ		1				
13	ペーパーチェア	YKA15S	平面設置タイプ		1				
14	アンカーボルト	YPH62017W2	M6×85		1				
15	固定金具 樹脂プラグ	T110D28			1				
16	収納式多目的シート (グリップ付き)	EW C520ARS	アンカーボルトM10 (4本 床固定)		1				
17	壁掛手洗器	LSW870APMR	自動水栓 発電タイプ		1				
18	化粧鏡	YMK51K	360×1100		1				
19	コンパクトオストメイト	UAS81LDB1NW			1				
20	側板	UTR141			2				
21	シングルフック	YKH52AR			1				
22	I型手すり	T112C4			1				
23	フィッティングボード	YKA41R			1				
24	取付金具	T110D45			1				
25									

※ 軽量間仕切りに器具取付は、補強材及び取付金具を使用し、堅固に取付。

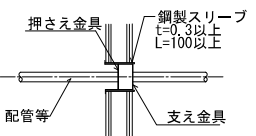


工 事 名 称 磯部小学校校舎バリアフリースイレ整備工事	衛生器具表 給排水衛生換気設備図 (改修)	設計	一級建築士 登録 343711号 箕浦 成 図	一級建築士 登録 73286号 箕 浦 眞 司	一級建築士事務所 箕 浦 設 計 三重県志摩市阿児町鵜方 1229-6 電話 0599-43-0550	図面番号 M - 02
		訂正				
		A2→A3 70.7%縮小				

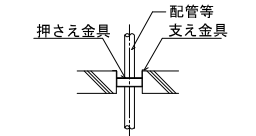
不燃材料の配管が「建築基準法施行令第112条第15項」に規定する耐火構造等の防火区画を貫通する場合



(1) コンクリート壁等を貫通する場合



(2) 中空壁を貫通する場合



(3) 床を貫通する場合

国土交通大臣認定番号  
PS060WL-0318  
PS060FL-0319

貫通部周囲の充填材は必要に応じて脱落防止措置を施す。  
複数の管が近接して貫通する場合は相互間の開口部の離隔距離は200mm以上とする。

用途	配管種類	配管サイズ（最大） 呼び径（mm）
空調	断熱被覆金属管（銅管等）	金属管外径φ44.5 断熱被覆30まで可
	結露防止層付硬質塩化ビニル管	50
	断熱材被覆架橋ポリエチレン管	20
	断熱材被覆ポリブテン管	20
	断熱材被覆金属強化ポリエチレン管	20
	断熱材被覆硬質塩化ビニル管	25
	さや管	36
	架橋ポリエチレン管	100
	ポリエチレン管	100
	ポリブテン管	75
給排水	ポリプロピレン管及びガラス繊維強化ポリプロピレン管（GRP管）	100
	硬質塩化ビニル管（VP、HIVP、VU）	100
	耐熱性硬質塩化ビニル管（HT）	100
	建物排水用リサイクル発砲	100
	三层硬質塩化ビニル管（RF-VP）	100
	二層硬質塩化ビニル管	100
	合成樹脂製可とう電線管（PF管）	100
	硬質塩化ビニル電線管（VE、HIVE）	82

A

配管の防火区画貫通部施工要領図

（建基令第129条の2の5の当該部の概要）  
給水管、配電管その他の管が、第112条第15項の準耐火構造の防火区画、第113条第1項の防火壁、第114条第1項の界壁、同条第2項の間仕切壁又は同条第3項若しくは第4項の隔壁を貫通する場合において、これらの管の当該貫通する部分及び当該貫通部分からそれぞれ両側に1メートル以内の距離にある部分を不燃材料で遮ること。但し、第115条の2の2第1項第1号にかける基準に適合する準耐火構造の床若しくは壁又は特定防火設備で建築物の他の部分と区画されたパイプシャフト、パイダクトその他これらに関するものの申にある部分については、この限りではない。

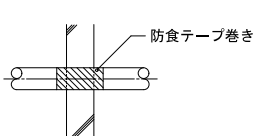
給水管等の用途	覆いの有無	材質	肉厚	給水管等の外径			
				給水管等が貫通する床、壁、柱又ははり等の構造区分			
				防火構造	30分耐火構造	1時間耐火構造	2時間耐火構造
給水管		難燃材料又は硬質塩化ビニル	5.5mm以上	90mm	90mm	90mm	90mm
			6.6mm以上	115mm	115mm	115mm	90mm
配電管		難燃材料又は硬質塩化ビニル	5.5mm以上	90mm	90mm	90mm	90mm
			5.5mm以上	90mm	90mm	90mm	90mm
給水管及び排水管に附属する通気管	覆いのない場合	難燃材料又は硬質塩化ビニル	4.1mm以上	61mm	61mm	61mm	61mm
			5.5mm以上	90mm	90mm	90mm	61mm
			6.6mm以上	115mm	115mm	90mm	61mm
			5.5mm以上	90mm	90mm	90mm	90mm
			6.6mm以上	115mm	115mm	115mm	90mm
			7.0mm以上	141mm	141mm	115mm	90mm

一 この表において、30分耐火構造、1時間耐火構造及び2時間耐火構造とは、通常の火災時の加熱にそれぞれ30分、1時間及び2時間耐える性能を有する構造をいう。

二 給水管等が貫通する令第112条第10項ただし書の場合における同項ただし書のひしし、床、そで壁その他これらに類するものは、30分耐火構造とみなす。

三 内部に電線等を挿入していない予備配管にあっては、当該管の先端を密閉してあること。

「建築基準法施行令第129条の2の5第1項」に規定する腐食防止のための措置について

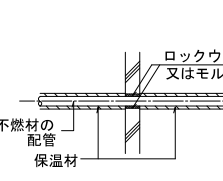


防食テープ巻き

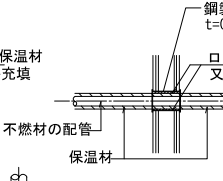
B

腐食防止のための措置について

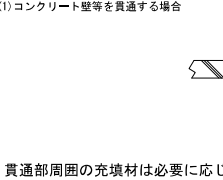
不燃材料の配管が「建築基準法施行令第112条第15項」に規定する耐火構造等の防火区画を貫通する場合



(1) コンクリート壁等を貫通する場合



(2) 中空壁を貫通する場合



(3) 床を貫通する場合

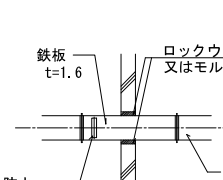
貫通部周囲の充填材は必要に応じて脱落防止措置を施す。  
複数の管が近接して貫通する場合は相互間の開口部の離隔距離は200mm以上とする。

C

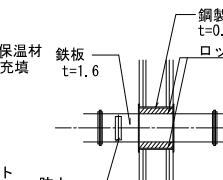
配管の防火区画貫通部施工要領図

貫通部において保温の必要がある配管

不燃材料の配管が「建築基準法施行令第112条第16項」に規定する耐火構造等の防火区画を貫通する場合



(1) コンクリート壁等を貫通する場合



(2) 中空壁を貫通する場合

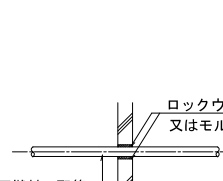
貫通部周囲の充填材は必要に応じて脱落防止措置を施す。  
複数の管が近接して貫通する場合は相互間の開口部の離隔距離は200mm以上とする。

D

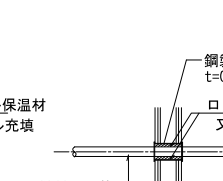
配管の防火区画貫通部施工要領図（換気ダクト）

保温の必要が無いダクト

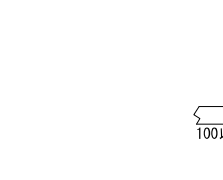
不燃材料の配管が「建築基準法施行令第112条第15項」に規定する耐火構造等の防火区画を貫通する場合



(1) コンクリート壁等を貫通する場合



(2) 中空壁を貫通する場合



(3) 床を貫通する場合

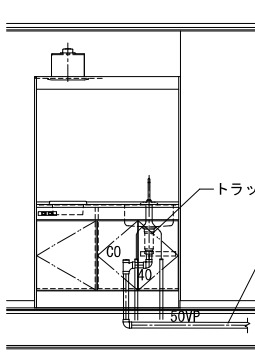
貫通部周囲の充填材は必要に応じて脱落防止措置を施す。  
複数の管が近接して貫通する場合は相互間の開口部の離隔距離は200mm以上とする。

E

配管の防火区画貫通部施工要領図

貫通部において保温が必要ない配管

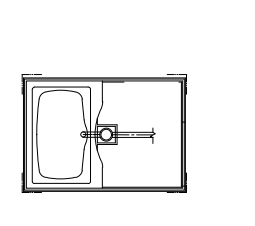
「建築基準法施行令第129条の2の5第2項」に規定するウォーターハンマー防止のための措置について



トラップ

ウォーターハンマー防止器

台所流し等の場合



トラップ付

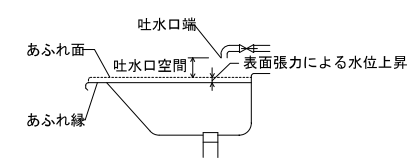
以降トラップは設けない（二重トラップの禁止）

ユニットバス等の場合

F

排水トラップの措置について（衛生上支障のないものとする）

「建築基準法施行令第129条の2の5第2項第二号」に規定する吐水口空間



吐水口端

吐水口空間

表面張力による水位上昇

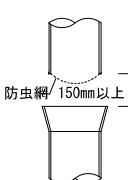
給水管の内径と吐水空間の目安

給水管の内径（mm）	吐水口空間
13以下	25
19以下	40
25以下	55
25 超	50
25 超	有効開口径の2倍
25 超	有効開口径の3倍

G

吐水口空間要領図

「建築基準法施行令第129条の2の5第2項」に規定するオーバーフロー管及び通気装置について



防虫網/150mm以上

末端部に耐食性のスクリーンや笠等を取付、ねずみ、衛生害虫等、土砂、ほこり及び雨水等が入らない構造とする。

排水空間を確保した間接排水とすること。

オーバーフロー管

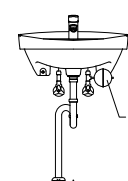
通気装置

水抜管

H

オーバーフロー管及び通気装置について

「建築基準法施行令第129条の2の5第2項」に規定するウォーターハンマー防止のための措置について



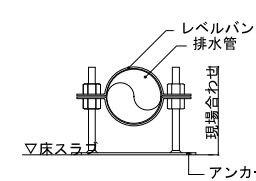
ウォーターハンマー防止器

(a) 手洗いの場合

I

ウォーターハンマー防止のための措置について

「建築基準法施行令第129条の2の5第2項」に規定する配管設備の構造について



レベルバンド

排水管

アンカー固定

洗面器排水金具

防臭ゴムパッキン

▽底板

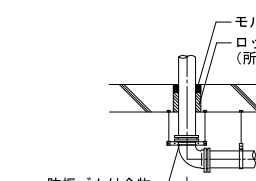
▽床スラブ

※型钢及び支持金物類は垂鉛メッキ仕上げとする。

J

配管支持等施工要領図

「建築基準法施行令第129条の2の5第2項」に規定する配管設備の構造について



モルタル塗りの上、塗布防水

ロックウール等（所轄消防等と事前打合せのこと）

防振ゴム付金物

立管より2m以内は防振ゴム付吊りバンド

1. スリーブの穴埋をした位置に支持部、吊ボルトが来ない様にする事。

K

排水立管支持要領図

工事名称	機械設備 詳細仕様書	設計	一級建築士 登録 73286号	一級建築士事務所 箕浦設計	図面番号
磯部小学校校舎バリアフリートイレ整備工事		訂正	一級建築士 登録 343711号	箕浦 眞 司	
	A2→A3 70.7%縮小			三重県志摩市阿児町鶴方 1229-6 電話 0599-43-0550	M-03